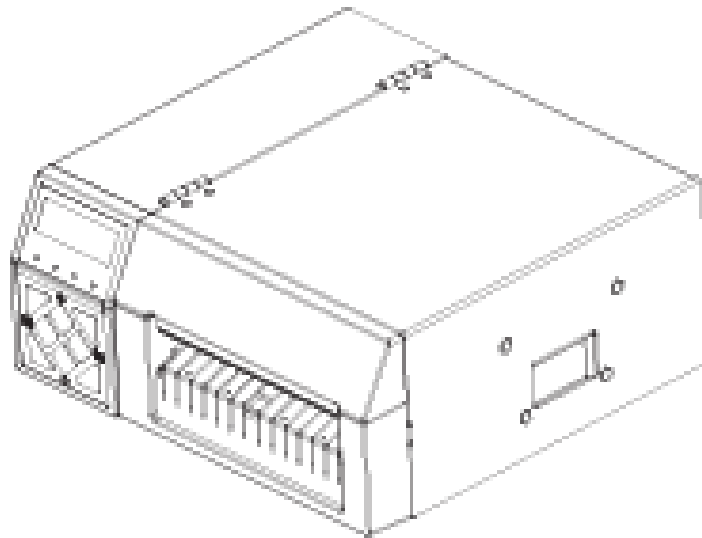


ターボサーマルラベルプリンター

ユーザーマニュアル



感熱方式専用プリンター
FT-118TT

ファインテック株式会社

〒261-7124 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目 6 番地 1

WBG マリブイースト 24 階

TEL : 043-307-3016 FAX : 043-307-3018

ホームページ : www.jp-finetech.com

目次

1. プリンター本体について	8
1.1 付属品	8
1.2 外観と各部名称	9
2. 規格	10
3. プリンターの設置、使用方法	11
3.1 電源のつけかた	11
3.2 インターフェイス	12
3.3 用紙の取り付け方	12
3.3.1 ファンフォールド紙の取り付け方	12
3.3.2 外付けロールラックについて	13
3.4 コントロールパネル	13
3.4.1 ボタン操作について	14
3.4.2 各 LED ライトが示すプリンターの状態について	14
3.5 基本パラメーター設定	15
3.5.1 プリンターユーティリティを使ったパラメーターの設定	15
3.5.2 手動でパラメーターを変更する方法	15
3.6 テスト印刷	21
3.6.1 自己診断機能	21
3.6.2 Windows ドライバーを使ったテスト印刷	21
3.7 ラベルの読み込み	21
4. インターフェイス	22
4.1 USB インターフェイス	22
4.2 RS232C インターフェイス	22
5. ユーティリティの使用方法	23

5.1 ユーティリティのインストール	23
5.2 ユーティリティの使用法	23
6. Seagull windowsドライバー	37
6.1 ドライバーについて	37
6.2 インストールの準備	37
6.3 ドライバーのインストール	37
6.4 ドライバーの使用法	43
6.4.1 プリンターのメインメニュー	43
6.4.2 テスト印刷について	50
6.4.3 用紙サイズ	51
6.5 用紙のサイズ	53
7. BarTender Ultralite	54
7.1 BarTender Ultralite について	54
7.2 インストールの準備	54
7.3 インストール	54
7.4 ソフトの使用法	58
7.4.1 ソフトウェア設置	58
7.4.2 ラベルの編集について	63
8. プリンターのお手入れ	69
8.1 プリントヘッドのクリーニングする	69
8.2 センサー、印刷ローラー、用紙経路などのクリーニングについて	69
9. 改定履歴	70

■ はじめに

この度は、当社のエコノミックサーマルラベルプリンター（感熱方式タイプの FT-118TT、以降「本プリンター」と呼びます）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

本マニュアルは、はじめてプリンターをお使いになる方、基本的な操作及び取り扱い方法を習得していただくことを目的としています。本マニュアルをよくお読みいただき、本プリンターの機能をご理解し、正しくお使いください。万一本プリンターに対してご不明な点などございましたら、弊社へご連絡ください。

本マニュアルに記載した内容

- 使用方法及び取り扱い方法
- プリンターユーティリティ（本プリンターの設定ツール）の機能や設定方法
- 本プリンターの Windows ドライバーの取り扱い方法
- ラベル編集ソフト BarTender Ultralite の使用方法

■ お客様へ

1. 本マニュアルに記載された写真や図面などは外観の参考例であり、製品改善のためお断りなく仕様を変更することがありますのでご了承ください。
2. 本プリンターのさらなる発展と改良のため、本プリンターの仕様や付属する各ソフトウェアなどの内容が通知されずに変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
3. 本マニュアルの内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、ご購入された販売店または弊社へご連絡ください。
4. 今後の修理などのサービスをご利用していただけるため、本プリンターに付属される保証書へのご記入後、大切に保管していただけますようお願い申し上げます。
5. いかなる形式でも本マニュアルの一部または全部の複製及び無断転載をお断りいたします。
6. その他記載されている会社名、ソフトウェア名、製品名などは各社の商標または登録商標です。

■ WEEE 基準



本プリンターを廃棄する際に、決してその他の家庭ごみと共に捨ててはならないことを示しています。もしこの規定を破った場合は当製品を遺棄したお客様に、遺棄した製品の回収を要求する場合がございます。あらかじめご了承ください。もし当製品を処分されたい場合は、各自治体へ連絡し、粗大ごみとして処分してください。

■ 安全上のご注意



警告：印刷中、もしくは印刷直後にプリントヘッドを触らないでください。プリンター稼働中はプリントヘッドに熱が発生するため、それらに接触する行為はやけどの恐れがあります。



警告：プリントヘッドや各種接続口はむやみに手で触らないでください。静電気を誘発し、プリンター内部の部品などを破損させる可能性があります。

■ 安全上のご注意

本プリンターを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害、財産の損失を未然に防ぐため、本プリンターのご利用の前に、必ず以下の安全上のご注意をご覧になり、お守り頂くことを次のように説明しています。

以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。



高温注意：印刷中、もしくは印刷直後にプリントヘッドを触らないでください。プリンター稼働中はプリントヘッドに熱が発生するため、それらに接触する行為はやけどの恐れがある警告表示です。



ケガに注意：プリントヘッドや各種接続口はむやみに手で触らないでください。静電気を誘発し、プリンター内部の部品などを破損させる可能性がある警告表示です。



警告-この表示を無視して誤った取り扱いをした場合、感電などの重傷を負う可能性がある警告表示です。



注意-この表示は本プリンターを正しく扱う上で重要なことを記載しており、この表示を無視して誤った操作を行った場合、本プリンターの故障につながる場合がございます。



警告：本プリンターは特定の生活環境で無線局の影響による悪影響や不具合を生じてしまう場合があります。このような場合は、大変恐縮ですがお客様による対応が必要となります。

1. 安全注意事項



警告事項

- 1) 指定以外の電圧は使用しないでください。
指定された電源電圧以外は使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 2) 複数の電源プラグを同一のコンセントへ接続することは避けてください。
 - この行為は火災を招く場合があります。
 - もし電源プラグが濡れていたり、汚れていたりする場合は、必ずコンセントへ挿入する前に乾かさか、汚れを綺麗に拭き取ってから挿入してください。
 - 電源プラグとコンセントの規格が合わない場合は、決してコンセントへ電源プラグを差し込まないでください。
- 3) 本プリンターと同梱された AC アダプター以外の使用は避けてください。
 - 規格の合わない AC アダプターの使用は大変危険です。
- 4) 電源コードやケーブルの取り扱いについて
 - 電源コードやケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、破損、加工したりしないでください。
 - 重い物を載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 - 電源プラグをコンセントから抜き取る際は、無理やり電源コードを引っ張って抜き取ったりしないでください。
 - 手が濡れている状態で電源プラグをコンセントから抜き取ったり、差し込んだりしないでください。
 - このような行為は電源コードの破損を招き、火災の原因となる恐れがあります。
- 5) プリンターの内部を掃除し、内部に異物を入れないでください。
 - プリンター内部に異物や水が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売元または弊社にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 6) 本プリンターを落とした、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売元または弊社にご連絡ください。
- 7) 異常など状態で使用しないでください。
 - 万一、プリンターから煙出ている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売元または弊社にご連絡ください。
- 8) 本プリンターを分解しないでください。
 - 本プリンターの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は販売元又は弊社にご依頼ください。
- 9) 濡れた手で操作しないでください。
 - 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードやケーブルの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。
- 10) プリンター清掃に使われた洗浄液は火の届かない場所へ保管してください。火災の原因になります。



注意事項

- 1) 本プリンターから騒音が発生した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売元または弊社にご連絡ください。
- 2) 本プリンターを必ず安定した平らな場所へ設置してください。
 - プリンターの落下は製品の故障や周囲の人員にケガを及ぼす可能性があります。
- 3) 本プリンターを温度が高い場所に置かないでください。
 - プリンターを温度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は速やかに電源を切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電・故障の原因になります。
- 4) プリンターが操作不能な状態にある場合は、決して使用しないでください。感電や火災の恐れがあります。この場合速やかに電源を切り、弊社へご連絡下さい。
- 5) サーマルヘッドに関する取扱注意について
 - サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをする恐れがあります。用紙の交換、掃除はケガをしないように注意してください。
 - 印字後のサーマルヘッドは高い温度になっています。用紙を交換する時や清掃する時は火傷をしないように注意してください。
 - サーマルヘッドを素手で触ると、静電気が発生し、装置破損につながる恐れがあります。
- 6) 用紙のセットと清掃時の注意事項について
 - 本プリンターのカバーを開け閉めする際に、指を挟まないように、ケガをしないように注意してください。
- 7) 本プリンターと同梱された部品以外のものを使用しないでください。
- 8) その他の注意事項
 - スムーズな操作と万全な管理のために、プリンター本体の周囲は十分な空間を確保してください。
 - 本プリンターは水気がなく、直射日光の当たらない場所に設置してください。
 - 高温もしくは高湿、また不衛生な場所でのプリンターの使用はさけてください。
 - 本プリンターは揺れや衝突の恐れのない場所に設置してください。
 - もし長時間にわたりプリンターを使用しない場合は、電源コードを抜き取るようにしてください。
 - 本プリンターには、弊社指定の製品のご使用をお願いします。
 - 各種インターフェイスにケーブルやコードを接続もしくは拔出する場合は、プリンター本体の電源がオフになっていることをご確認下さい。
 - 本マニュアルはお客様が今後本プリンターを使用する際の参考のため、大切に保管してください。

2. その他の注意事項

弊社は本書の内容に関しまして、万全を期して作成いたしました。それでも事故や人的、設備的被害を完全に防ぐことはできません。万一本書の情報をもってしてもお客様やその他の人々がケガや事故などにより損失が発生してしまった場合、弊社は一切の責任を負いません。また、お客様が弊社の提供する情報通りに本プリンターを正しく扱わなかった場合や、弊社製品に対する独断の改造などによって生じたあらゆる人的、金銭的損失に対して、弊社は一切の法的責務を負いません。

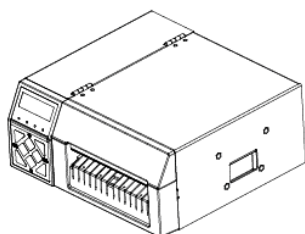
1. プリンター本体について

1.1 付属品



注意

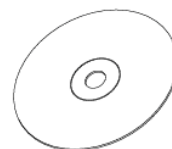
- 1) 箱を開けたら、次の同梱品が備わっているか確認してください。もし、足りないものがありましたら、購入された販売店または弊社までお問い合わせください。
- 2) 本プリンターは、正常なご利用のもとにおける故障については、納入から保証期間内であれば無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、付属の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償と成りますのでご了承ください。
- 3) また、本プリンターを梱包していた箱とプリンター抑え(緩衝材)も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本プリンターを梱包して送っていただきます。



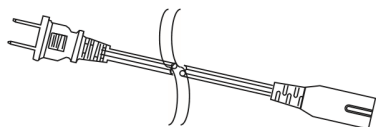
プリンター本体



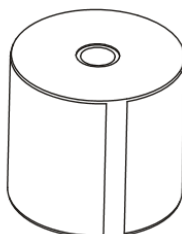
クイックスタートガイド
(保証書付)



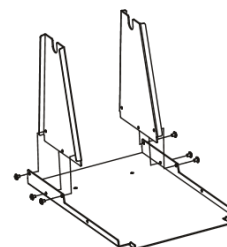
CD



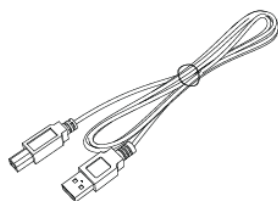
電源コード



ラベルサンプル



外付け用紙ホルダー

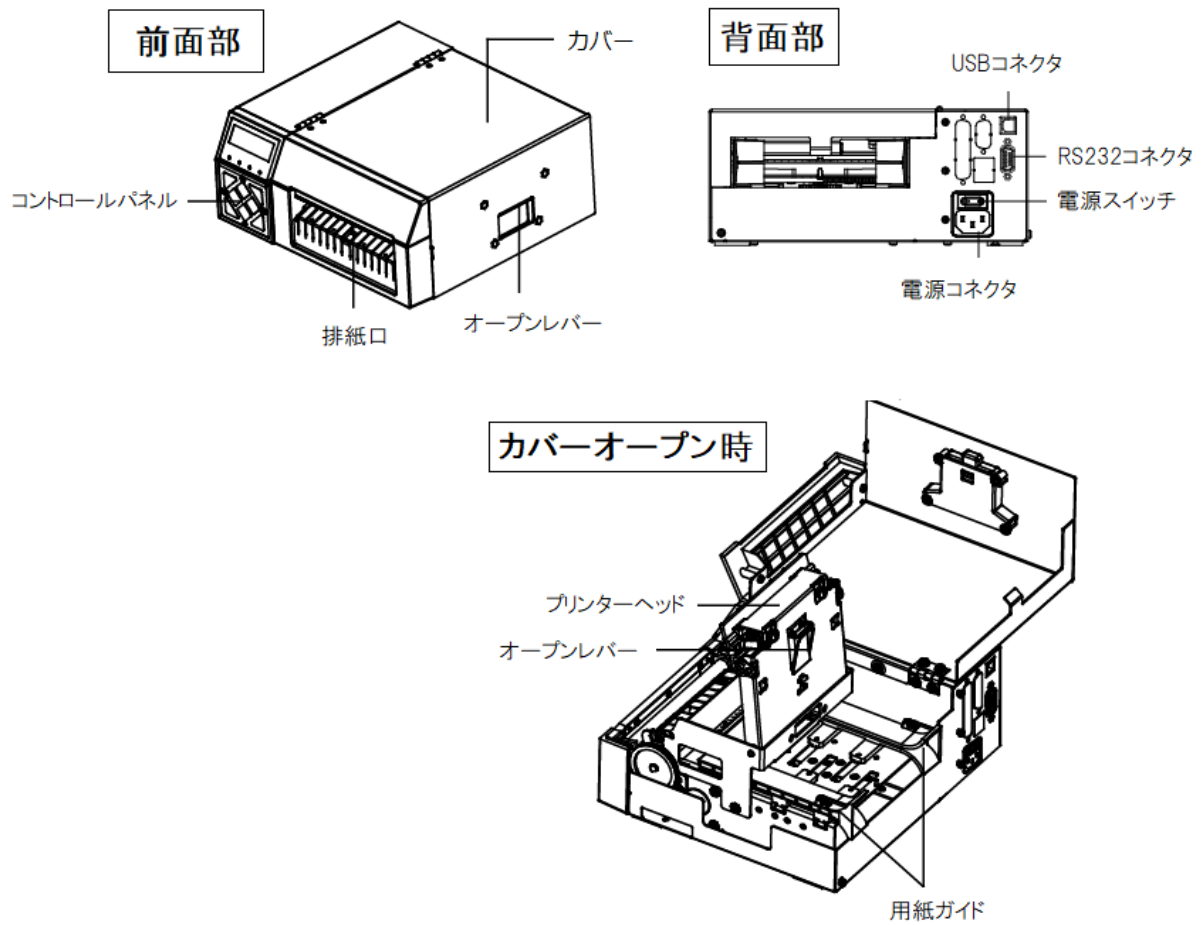


USB ケーブル



注意: 以上の内容は製品の仕様により異なる場合があります。

1.2 外観と各部名称



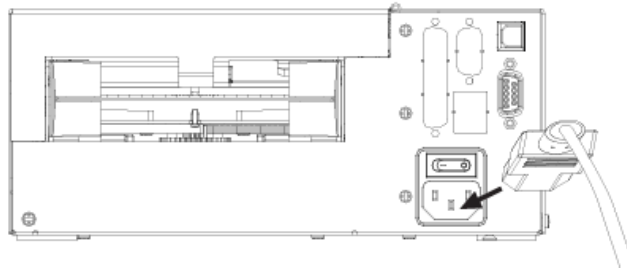
2. 規格

項目		FT-118TT
印刷	印刷方式	行式サーマル印刷
	解像度	203dpi(8dot/mm)
	有効印字幅	Max.108 mm
	印字速度	Min.120mm/秒 Max.190mm/秒
	インターフェイス	USB、RS232、LAN イーサネット(オプション)
文字記号	日本語	GB18030 16×16 24×24dots
	文字数字	ASC II 8×16, 12×24dots
バーコード	一次元コード	UPC-A、UPC-E、EAN8、EAN13、CODE39、CODE128、CODE93
	二次元コード	QR Code
自己診断機能	センサー	ギャップセンサー、用紙チェック、カバーオープン検出
AC アダプター仕様		100-240V ~ 50/60Hz 1.5A 24.0V ≒ 2.0A
用紙種類	種類	ファンフォールド紙、ロール紙
	用紙幅	57mm(最小)～118mm(最大)
	用紙厚	0.06mm(最小)～0.25mm(最大)
環境条件	動作	5℃～40℃, 20%～85%RH
	保管	-40℃～65℃, 5%～95%RH
サイズと重量	寸法(長*幅*高)	227×211.6×99.7mm
	重量	3.57 kg(用紙を除く)
オプションパーツ		外付けロールラック
耐久性	TPH の寿命	30Km
ソフトウェア	ドライバー	Win 7/Win 8/Win10 /Vista 以上の OS に対応しています。
承認		PSE

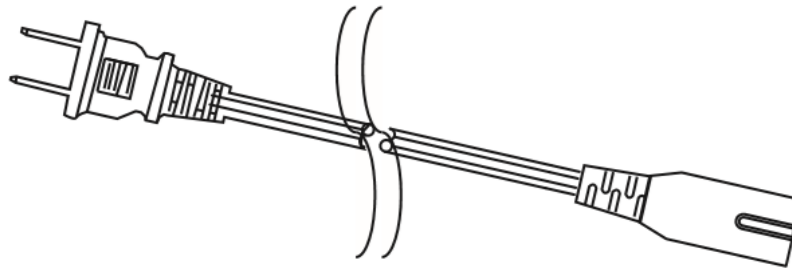
3. プリンターの設置、使用方法

3.1 電源のつけかた

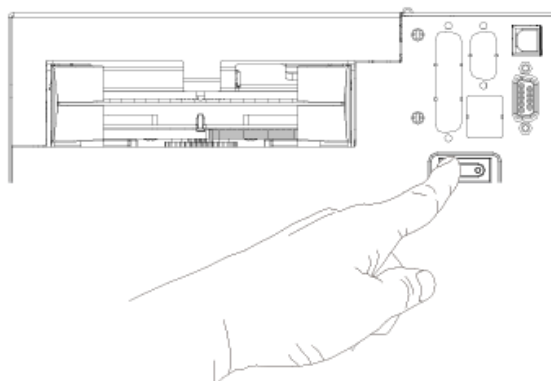
- 1) 電源コネクタをプリンター背面にある電源差し込み口へ接続します。



- 2) 電源コードを付近のコンセントへ接続します。



- 3) 電源スイッチをオンの状態(I)にします。

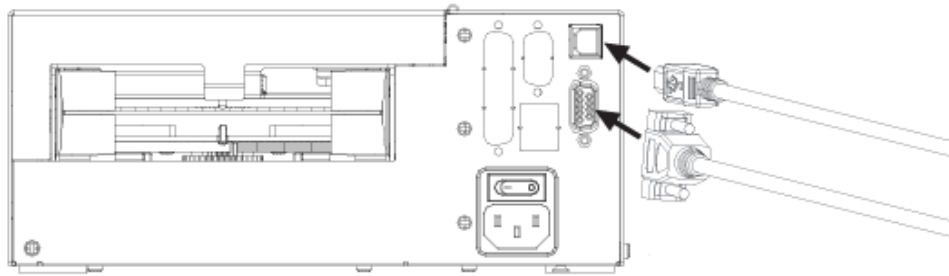


プリンター本体の電源が入ったかどうかは、コントロールパネルのフィードランプから確認できます。(フィードランプの色や状態が示す情報に関しましては、6.1の「フィードランプの意味」の項目をご覧ください。)

3.2 インターフェイス

下図のインターフェイスより、各種コネクタを接続できます。
本プリンターは以下のインターフェイスに対応しています。

USB B-Type インターフェイス
RS-232C インターフェイス



- 1) プリンター本体の電源がオフの状態(0)であることを確認します。
- 2) お使いのコネクタに対応したインターフェイスへ接続してください。

—RS232C(serial)ケーブルは RS-232C コネクタへ接続してください。
—USB ケーブルは USB B-Type コネクタへ接続してください。

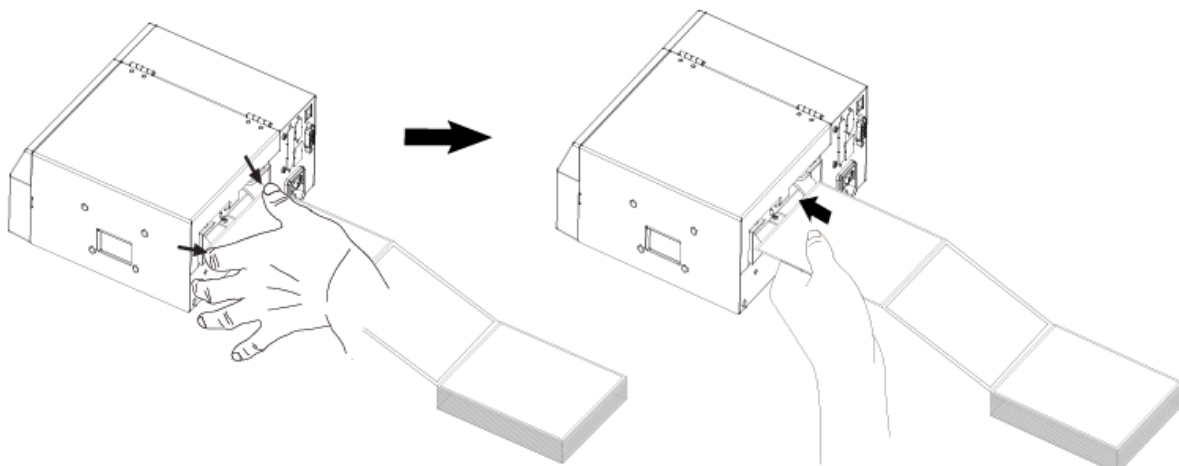
3.3 用紙の取り付け方

3.3.1 ファンフォールド紙の取り付け方

まず用紙の幅に合わせて用紙ガイド板の広さを調節してください。調整し終わったら、用紙をそのまま用紙経路へ挿入してください。

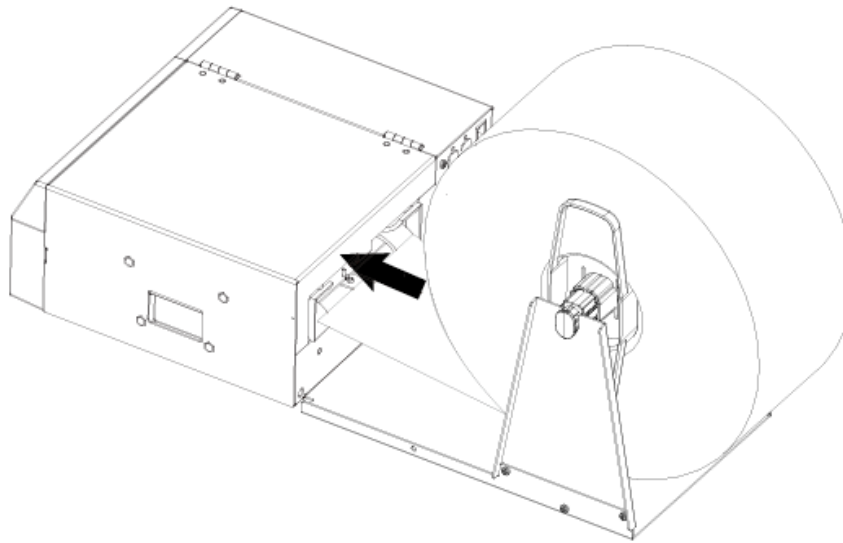


注意: 用紙を挿入する際は、用紙がプリンター内部へ自動的に送り込まれるまで奥へ押し込んでください。



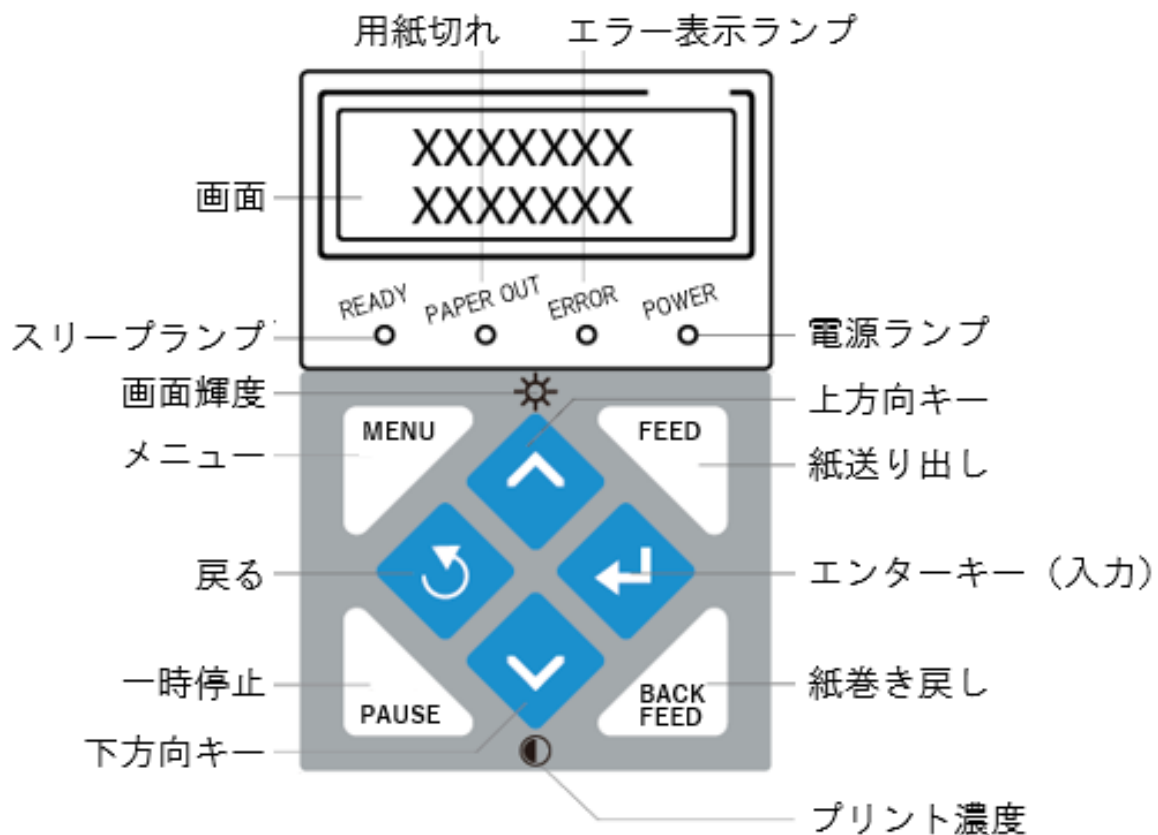
3.3.2 外付けロールラックについて

ロール紙を使用する場合には、下図のようにして外付けロールラックを装着します。



ロールラックはオプションパーツとなります。ロールラックをご希望の場合は、ご購入の際に販売店へお問い合わせください。また、ロールラックの取り付け方の詳細に関しては、「外付けロールラックの取り付け方」の項目をご覧ください。

3.4 コントロールパネル



3.4.1 ボタン操作について

メニュー	スリープモードからメニュー画面に入ります。
紙送り出し	紙送り出しボタンを押すと、プリンター本体から用紙の種類によって設定された分量だけ紙の送り出しが行われます。例えばラベル用紙をセットした状態で紙送り出しを行うと、ラベル一つ分の用紙がプリンター本体より送り出されます。
一時停止	①プリンター印刷中にこのボタンを押すと、印刷を一時停止させることができます（一時停止中はスリープランプが点灯します）。再度ボタンを押すことで、印刷を再開できます。 ②プリンター印刷中にこのボタンを 5 秒間以上長押しすると、印刷をキャンセルさせることができます。
紙巻き戻し	用紙をラベル 1 枚分だけ巻き戻します。
上方向キー	①スリープモード中にこのキーを長押しすると、画面の輝度を調整できます。上方向キーを押すと輝度が上がり、下方向キーを押すと下げることができます。 ②メニュー画面ではメニューの項目の選択ができます。 ③パラメーター設定画面では、選択したパラメーターを上げることができます。
下方向キー	①スリープモード中に下方向キーを長押しすると、印刷濃度の設定を行えます。下方向キーを押すことで印刷濃度を下げる（淡く）ことができ、再下限まで下げた状態でこのキーを押すと機械音がなり、それ以上濃度を下げられないことを示します。また、上方向キーを押すことにより濃度を上げることができます。（ただし、印刷濃度を上げすぎるとプリントヘッドの過熱の原因となる恐れがあります。） ②パラメーター設定では、選択したパラメーターの数値を下げるができます。
エンターキー	①選択した項目を決定します。 ②設定画面では、光点部分を決定し、設定することができます。
戻る	ひとつ前のメニューに戻ります。

3.4.2 各 LED ライトが示すプリンターの状態について

スリープランプ	点灯時は本体が準備状態に入っており、印刷可能状態であることを示します。
紙切れランプ	点灯時は本体の用紙が不足している状態を示します。
エラー表示ランプ	点灯時は本体に何かしらのエラーが発生していることを示し、点滅の速さや画面に表示されている数字などでどういったエラーが発生しているかを確認できます。
電源ランプ	点滅してないときは電源が正常に入っていることを示しており、素早く点滅している場合は電源に異常がみられることを示し、点灯していない場合は電源が接続されていない、もしくは電源供給に何かしらの不具合があることを示します。

3.5 基本パラメーター設定

以下の二通りの方法で本プリンターの基本パラメーター設定を行うことができます(RS232 ポーレート、用紙種類、印字濃度、印字幅、印刷など)。

3.5.1 プリンターユーティリティを使ったパラメーターの設定

本製品対応のプリンターユーティリティを使って各種設定を行うことができます(その他の設定、コードページ設定、印刷テストなど)。詳細は本マニュアルの項目「ユーティリティの使い方」をご覧ください。

3.5.2 手動でパラメーターを変更する方法

3.5.2.1 メニュー説明

メインメニュー	メニュー	内容
1. 印字設定	1.1 印字速度	印刷の速さを設定します
	1.2 印字濃度	印字濃度を設定します。
	1.3 センサー位置	センサーの位置を設定します
	1.4 開始-X	印刷開始位置の X 座標を設定します。
	1.5 開始-Y	印刷開始位置の Y 座標を設定します。
	1.6 停止位置	カッターの位置を設定し、ティアオフ位置の変更を行います。

メインメニュー	メニュー	内容
2. 設定	2.1 言語	メニュー一覧の言語を設定します
	2.2 Backlight	画面の輝度を設定します。
	2.3 警告音	アラーム音について設定します。
	2.4 リセット	初期設定へ戻します。
	2.5 PW 設定	メインメニューに入る際のパスワードを設定、変更します。
	2.6 FW 更新	ファームウェアのアップデートなどを行います。
3. 用紙測定	3.1 用紙測定	ラベルを再度プリンターに読み込ませて、ラベル用紙のずれを直します。
4. 印字テスト	4.1 設定情報印刷	本体の状態を表すセルフインフォメーションを印刷します。
	4.2 テスト印刷	テスト印刷を行います。
	4.3 Debug Mode	プリンター本体の初期データを印刷し、本体のエラーを探す手がかりとします。
5. I/O 設定	5.1 RS-232	RS-232 の数値を設定します
6. 情報印刷	6.1 シリアル番号	12 桁のシリアルナンバーを表示します。
	6.2 機種名	本製品の機種名を表示します。
	6.3 FW 情報	ファームウェアのバージョンを表示します。
	6.4 総印字長さ	すでに印刷した用紙量を確認できます。
	6.5 製造日	本製品の製造日を表示します。

3.5.2.2 パラメーター設定

1. 印字設定

項目	説明	初期設定
1.1 印字速度	印字速度を設定します。 (2-7)ips の間で設定できます。	7ips
1.2 印字濃度	印字濃度を設定します。 (0-15)の間で設定できます。	8
1.3 センサー位置	センサーの設定を行い、光点の探知方式を変更します。	-
1.4 開始-X	印刷開始位置の X 座標を設定します。 (+00~+89)dot の間から選択できます。	00
1.5 開始-Y	印刷開始位置の Y 座標を表示します。 (+00~+89) dot の間から選択できます。	00
1.6 停止位置	ラベルの終わる場所を設定します。 (-89~+89) dot の間から設定できます。	00

2. 設定

項目	説明	初期設定
2.1 言語	メニュー欄に使われる言語を変更します。 英語/日本語	日本語
2.2 Backlight	画面の輝度を設定します。 選択範囲(0-3) の間から設定できます。0 を最小とします。	3
2.3 警告音	アラーム音の大きさを設定します。 選択範囲(0-3) の間から設定できます。0 を最小とします	2
2.4 リセット	変更したすべての設定を初期設定に戻します。	-
2.5 PW 設定	設定を変更する際に必要なパスワードを設定します。 この機能を活用することにより、むやみな設定変更などの悪戯を防ぐことができます。 パスワードは4桁で設定できます。(例:0000~9999)	1001
2.6 FW 更新	ファームウェア(プリンター本体)のバージョンをアップデートします。	-

3. 用紙測定

項目	説明
3.1 用紙測定	ラベル位置を再度読み込み、正しい印刷位置を設定します。

4. 印字テスト

項目	説明
4.1 設定情報印刷	プリンター本体の情報を載せたものを印刷します。
4.2 テスト印刷	プリセット設定されたページを印刷し、プリンターが正常に稼働しているかを試します。
4.3 Debug Mode	プリンター本体の初期設定数値を印刷し、エラーを探す上で役立てます。

5. I/O 設定

項目	説明	初期設定
5.1 RS-232	5.1.1 Baud Rate ボーレート(9600,19200,38400,57600,115200)	19200
	5.1.2 Parity 奇数偶数検証(無、奇数、偶数)	無
	5.1.3 Data Bits データビット(8bit)	8bits
	5.1.4 Stop Bit ストップビット(1,2bit)	1bit

6. 情報印刷

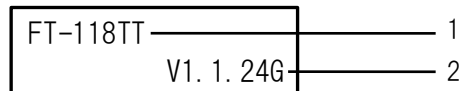
項目	説明
6.1 シリアル番号	15 桁のシリアルナンバーを表示します。
6.2 機種名	FT-118TT
6.3 FW 情報	V1.1.24G (お買い上げの製品によりバージョンが異なる場合がございます。)
6.4 総印字長さ	お使いの製品がどれだけ印刷したかを示しています。
6.5 製造日	お使いの製品の製造日が表示されます。

3.5.2.3 画面

本プリンターについているコントロールパネル画面のメニューより、プリンター本体の状態や各種設定などを確認できます。コントロールパネルの操作やメニューの内容につきましては、以下の項目をご覧ください。

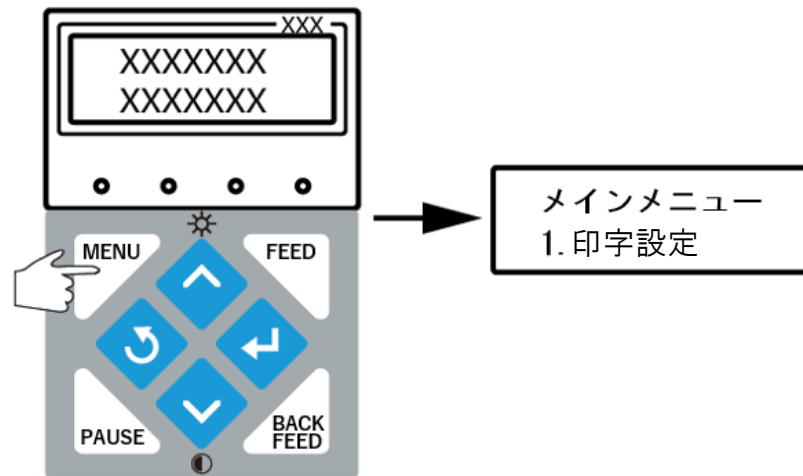
コントロールパネル画面の見方について

スリープモード: プリンター本体の起動が完了しましたら、下図のような画面が表示されます。

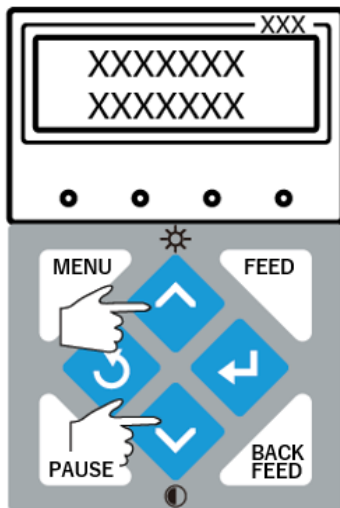


1	プリンター名称
2	プリンター内ソフトウェアのバージョン

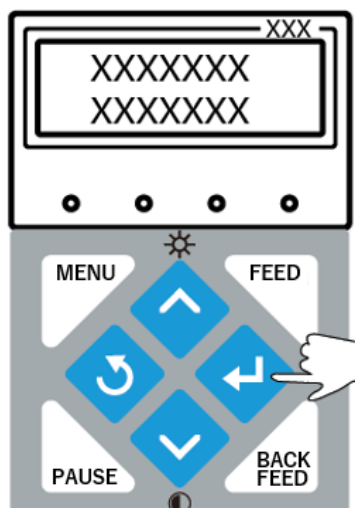
メインメニュー メインメニューよりプリンターの各種設定と操作を行うことができます。



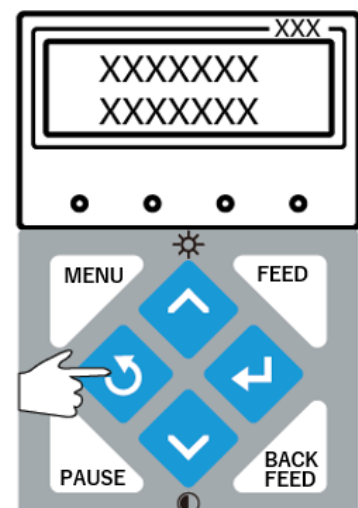
スリープモードの状態ではエンターキーを押すとメインメニューを開くことができます



1. 上方向キーや下方向キーを押して、メニューの項目を選択できます。



2. 項目を選択して、エンターキーを押すと、その項目を開くことができます。



3. 戻るボタンを押すと一つ前のメニューに戻ります。

3.6 テスト印刷

3.6.1 自己診断機能

初めてプリンターをセットアップした時やプリンターに何らかの不具合が認められた場合、自己診断機能を実行し、以下の状態をご確認ください。ファームウェアのバージョン、プリンターのパラメーター、用紙状態または外付け部品等々。自己診断を経ても問題点が見つからない場合は、ほかの装置またはソフトウェアの状態をご確認ください。自己診断機能はほかの一切の機能とは独立して動かすことができます。

自己診断機能の使い方は以下のようになります

- プリンターと電源がつながっており、なおかつ用紙が正しくセットされていることを確認してください。（この段階ではプリンターに電源は入れません）
- プリンターのカバーがしっかり閉じていることを確認して、ここでプリンター本体の電源を入れてください。
- 印刷準備の整った状態で紙送り出しボタンを長押しし、緑色に光っているランプが一度点滅したのを確認したら、ボタンを離します。これらを終えたらプリンターが自己診断を開始し、テスト印刷を行います。

3.6.2 Windowsドライバーを使ったテスト印刷

- 1) Windowsドライバーをインストールします。
- 2) windowsドライバーのポートを開放し、お使いのインターフェイスを選択します。
- 3) windowsドライバーの「テストプリント機能」を選択しますと、本プリンターのテスト印刷が開始されます。

3.7 ラベルの読み込み



注意：以下の状況の場合、ラベル読み込みを行うことでよりスムーズに印刷作業を進めることができます

- 初めてプリンター初めてプリンターを起動した場合。
- 用紙センサーの清掃後初めて起動した時場合
- やや長い間プリンターを使っていなかった場合。新しい種類の用紙をセットした場合。
- 印刷中に光点マークが認識されなかった場合。
- プリンターの使用環境が大きく変わった場合。

プリンター本体が印刷準備完了の状態ですエンターキーを2秒間長押ししてから離すと、ラベルの読み込みが行われ、3枚ほど用紙が送り出されます。（この際にコントロールパネル画面にはラベル読み込み中の表示が出ます。）また、コントロールパネルを操作してラベル読み込みを行うこともできます。



注意：ラベル位置の読み込みなどを済ませましたら、用紙の無駄遣いを避けるため、一度プリンター本体のカバーを開けて、中にセットされていた用紙などをもう一度設置しなおして

4. インターフェイス

4.1 USB インターフェイス

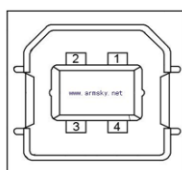


図 4-1

Ping ナンバー	コード
1	VBUS
2	D-
3	D+
4	GND

4.2 RS232 インターフェイス

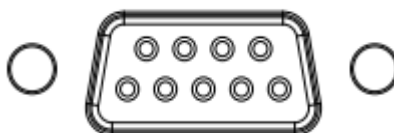


図 4-3

Ping ナンバー	コード
1	-
2	TXD
3	RXD
4	-
5	GND
6	RTS
7	CTS
8	RTS
9	-

5. ユーティリティの使用方法

5.1 ユーティリティのインストール

同梱の CD よりプリンターユーティリティのインストールできます。(例: UtilityForLabel_Channel V2.0.0.2)

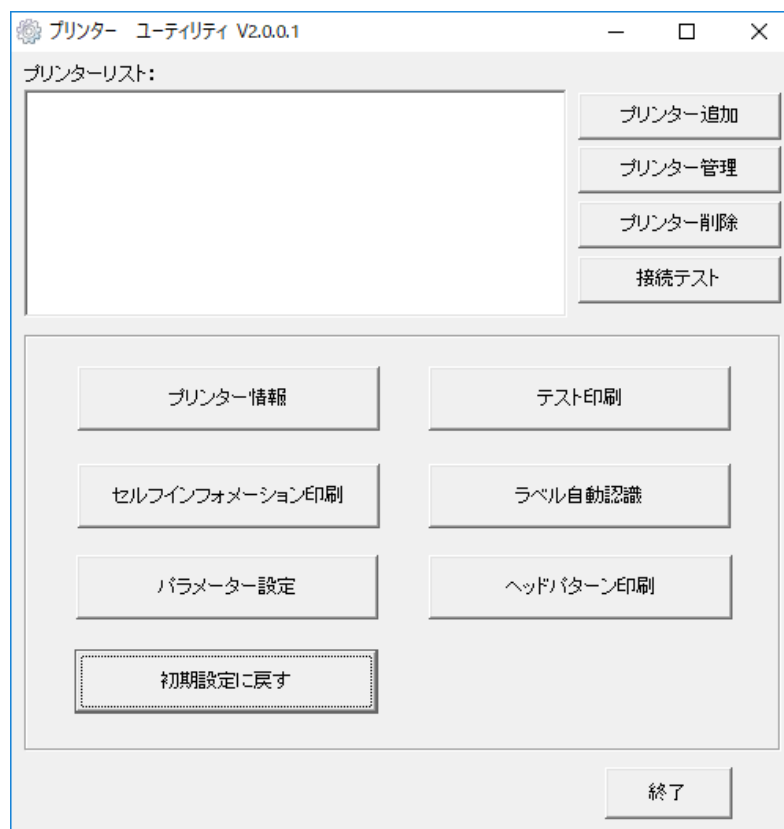
5.2 ユーティリティの使用方法



注意:

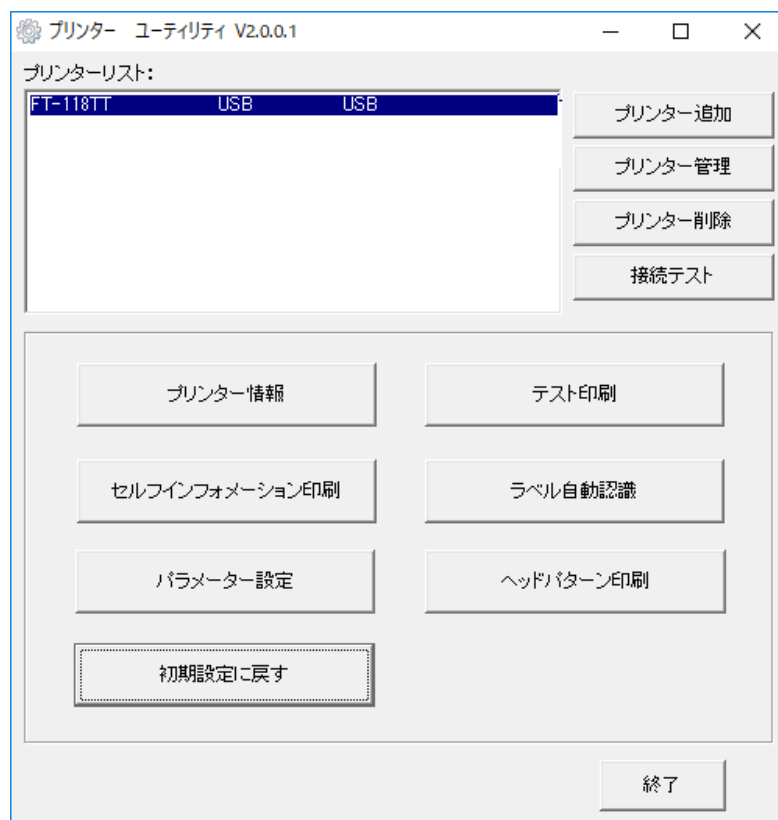
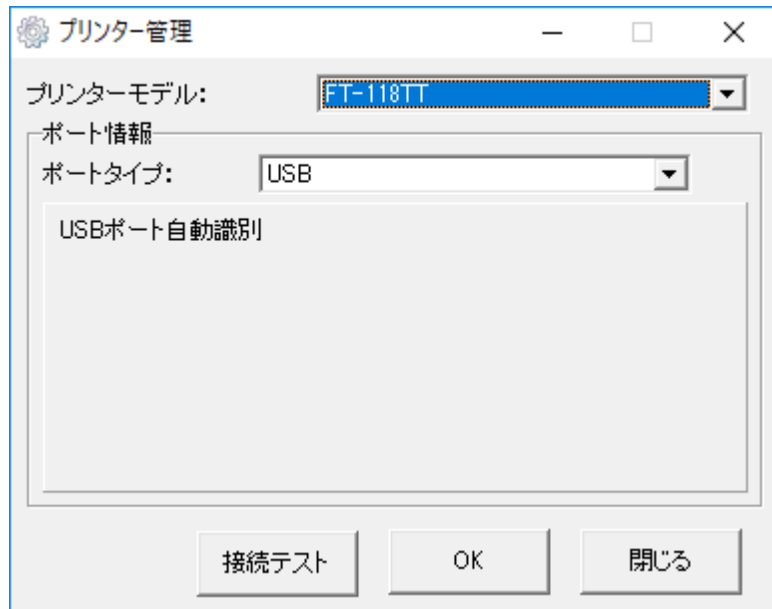
- 以下の操作画面は当ユーティリティを Windows7 で操作した場合のものとなります。お使いのパソコンの OS が異なる場合は、操作画面も異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- インストール前に、一時的にファイアウォールなどのウイルス対策ソフトを止めていただきますと、よりスムーズにインストールしていただけます。

(1) プリンターユーティリティを起動してください。

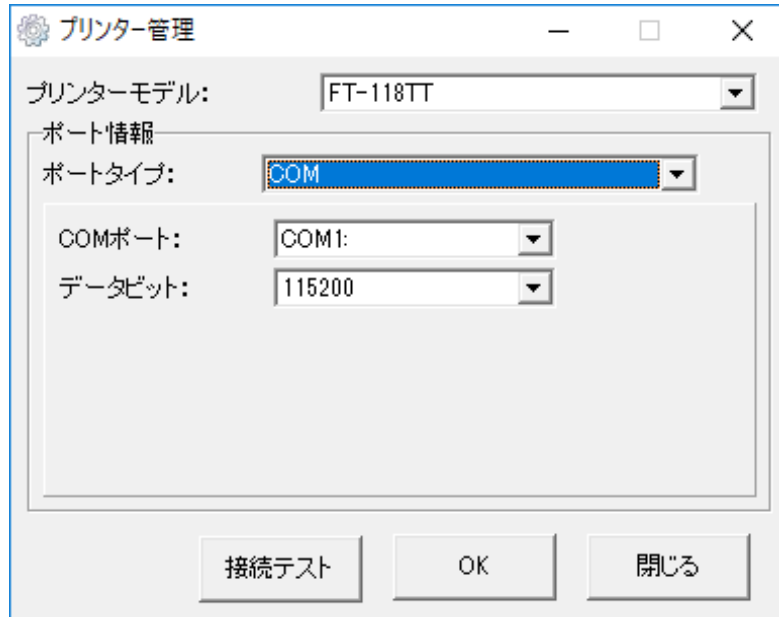
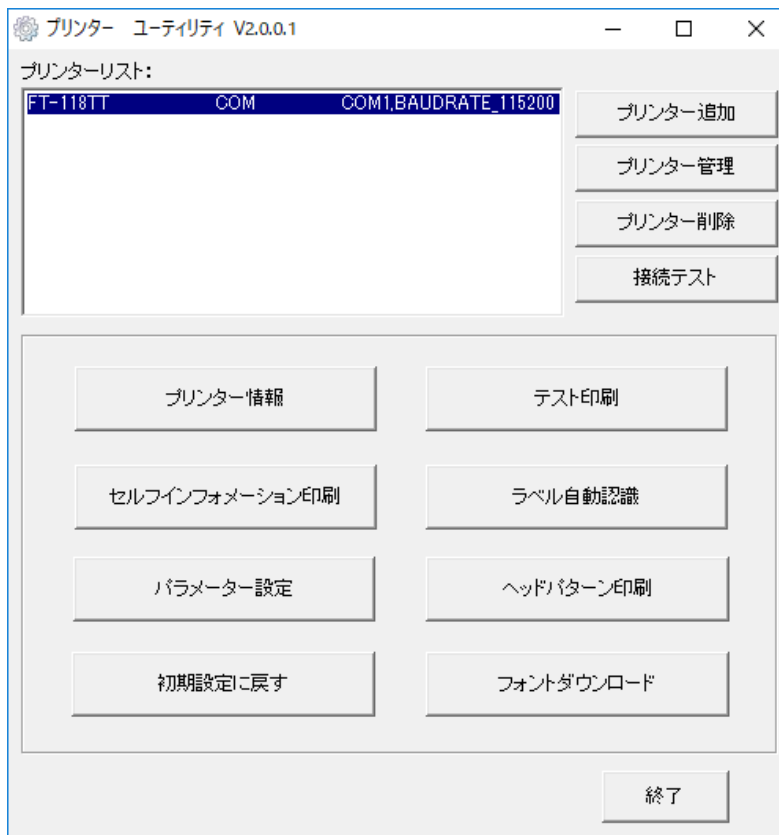


(2) プリンターの追加/削除/設定変更、接続テスト

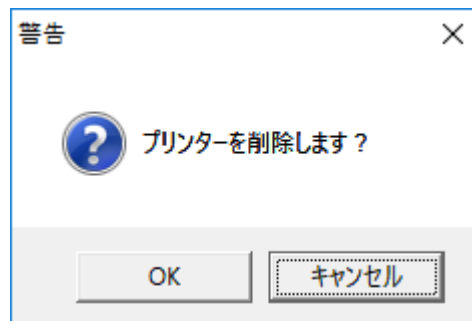
「プリンターの追加」の項目をクリックし、プリンター本体とプリンターとパソコンを接続するのに使っているインターフェイスを選択します(下図は USB を使って接続している場合を例としたものです)。以上の二つの項目を選びましたら、「確定」をクリックしてください。そして「プリンターリスト」より、プリンターが正しく設定されているかを確認してください。



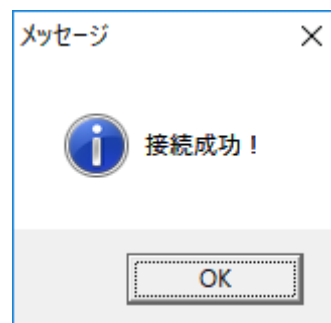
- 「プリンター管理」をクリックすると、プリンターリストからプリンターを選択し、設定を編集することができます(下図では COM1 を例としています)。インターフェイスなどを変更し終わったら「確定」をクリックして編集内容を保存します。編集内容が正しく反映されたかは、プリンターリストから確認してください。

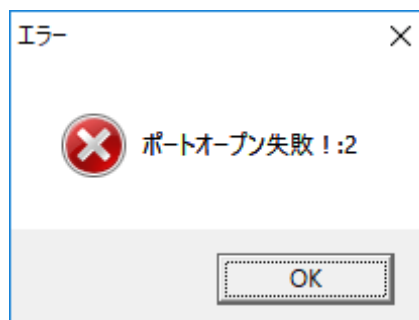
- 「プリンター削除」をクリックすると下図のように確認画面が出てきます。ここで「確定」をクリックすることで、作成したプリンター設定を削除することができます



- 「接続テスト」をクリックすると、接続テストを行うことができます。また、接続テストが成功した場合は、下図のような画面が表示されます。



- 接続テストが失敗した場合、下図のような画面が表示されます。



注意: プリンター本体とパソコンを接続する場合、お客様のご購入なさったプリンター機に合ったインターフェイスを選択し、パソコンとの接続に使用してください。規格の合わないインターフェイスの使用は、接続失敗の原因となります。また、インターフェイスの詳細に関しましては、本書の項目「インターフェイス」よりご覧になれます。(USB インターフェイスを使用する場合は、必ず一つのパソコンに対し、一つだけのプリンターを接続してください。)

3. ユーティリティの機能について

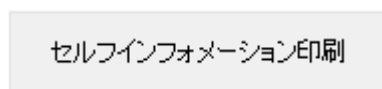
- 「プリンター情報」をクリックすると下図のようにプリンターの情報を確認できます。



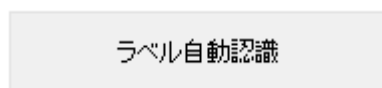
- 「テスト印刷」をクリックすると、印刷テストとしてテキストを印刷することができます。



- 「セルフインフォメーション印刷」をクリックすると、プリンターのセルフインフォメーションを印刷します。



- 「ラベル自動認識」をクリックすると、プリンターに自動的にラベルの読み込みを行わせることができます。



- 「パラメーター設定」をクリックすると以下のような画面が表示されます。



パラメーター設定

Bluetooth設定
Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)
パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷
☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング
DHCP: ON
IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100
サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200
データビット: 8
ストップビット(s): 1
パリティ: NONE

起動時ラベル再検出
☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ
☐ 反射式 ☒ 透過式

その他
カット位置微調整: 0 -120~+120
発行モード: 手動カット
用紙タイプ: ラベル用紙
印刷濃度: 15
温度微調整: 0
プリント速度: 5
プロトコル: ZPL
コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

「Bluetooth 設定」は下図の赤枠内から設定できます。



パラメーター設定

Bluetooth設定
Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)
パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷
☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング
DHCP: ON
IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100
サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200
データビット: 8
ストップビット(s): 1
パリティ: NONE

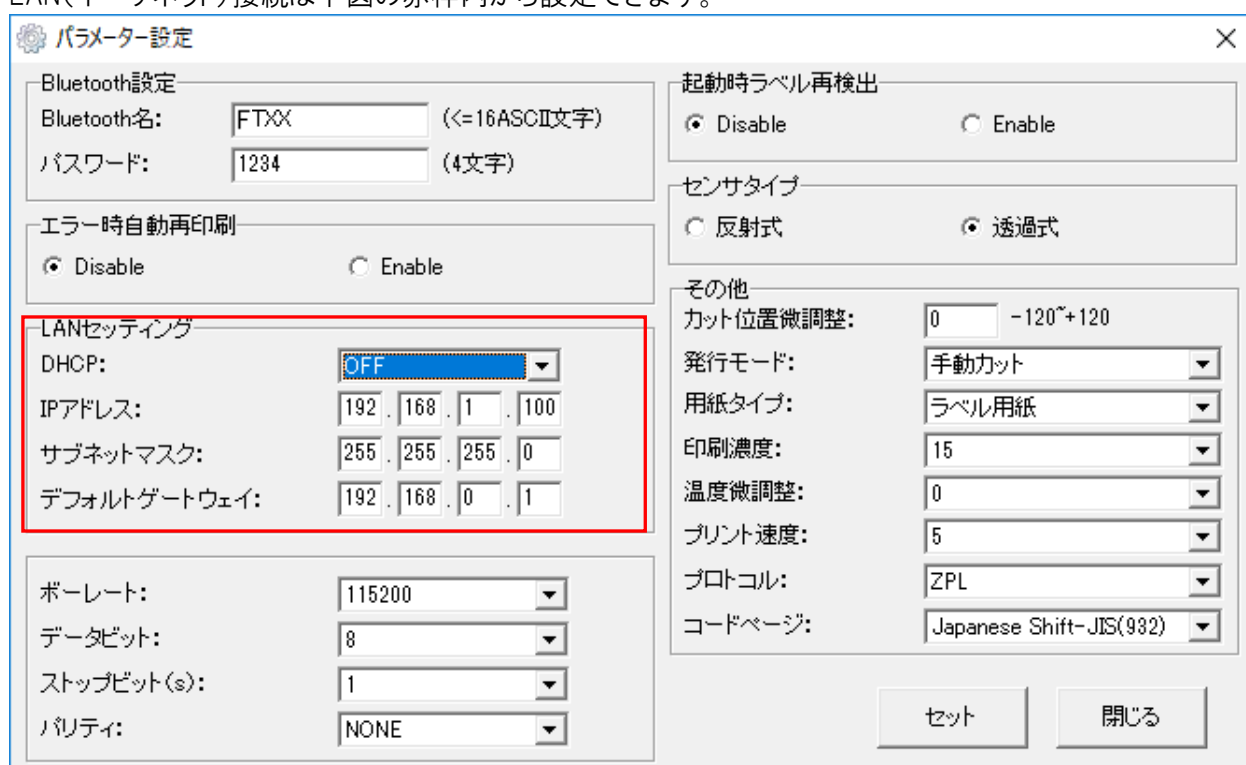
起動時ラベル再検出
☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ
☐ 反射式 ☒ 透過式

その他
カット位置微調整: 0 -120~+120
発行モード: 手動カット
用紙タイプ: ラベル用紙
印刷濃度: 15
温度微調整: 0
プリント速度: 5
プロトコル: ZPL
コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

LAN(イーサネット)接続は下図の赤枠内から設定できます。



パラメータ設定

Bluetooth設定
Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)
パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷
☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング
DHCP: OFF
IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100
サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200
データビット: 8
ストップビット(s): 1
パリティ: NONE

起動時ラベル再検出
☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ
☐ 反射式 ☒ 透過式

その他
カット位置微調整: 0 -120~+120
発行モード: 手動カット
用紙タイプ: ラベル用紙
印刷濃度: 15
温度微調整: 0
プリント速度: 5
プロトコル: ZPL
コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

ボーレートは下図のプルダウンメニューから設定できます。



パラメータ設定

Bluetooth設定
Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)
パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷
☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング
DHCP: OFF
IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100
サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200
データビット: 8
ストップビット(s): 1
パリティ: NONE

起動時ラベル再検出
☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ
☐ 反射式 ☒ 透過式

その他
カット位置微調整: 0 -120~+120
発行モード: 手動カット
用紙タイプ: ラベル用紙
印刷濃度: 15
温度微調整: 0
プリント速度: 5
プロトコル: ZPL
コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

データビットは下図のプルダウンメニューから設定できます。

Bluetooth設定

Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)

パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷

☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング

DHCP: OFF

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200

データビット: 8

ストップビット(s): 7

パリティ: NONE

起動時ラベル再検出

☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ

☐ 反射式 ☒ 透過式

その他

カット位置微調整: 0 -120~+120

発行モード: 手動カット

用紙タイプ: ラベル用紙

印刷濃度: 15

温度微調整: 0

プリント速度: 5

プロトコル: ZPL

コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

ストップビットは下図のプルダウンメニューから設定できます。

Bluetooth設定

Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)

パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷

☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング

DHCP: OFF

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200

データビット: 8

ストップビット(s): 1

パリティ: 1

起動時ラベル再検出

☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ

☐ 反射式 ☒ 透過式

その他

カット位置微調整: 0 -120~+120

発行モード: 手動カット

用紙タイプ: ラベル用紙

印刷濃度: 15

温度微調整: 0

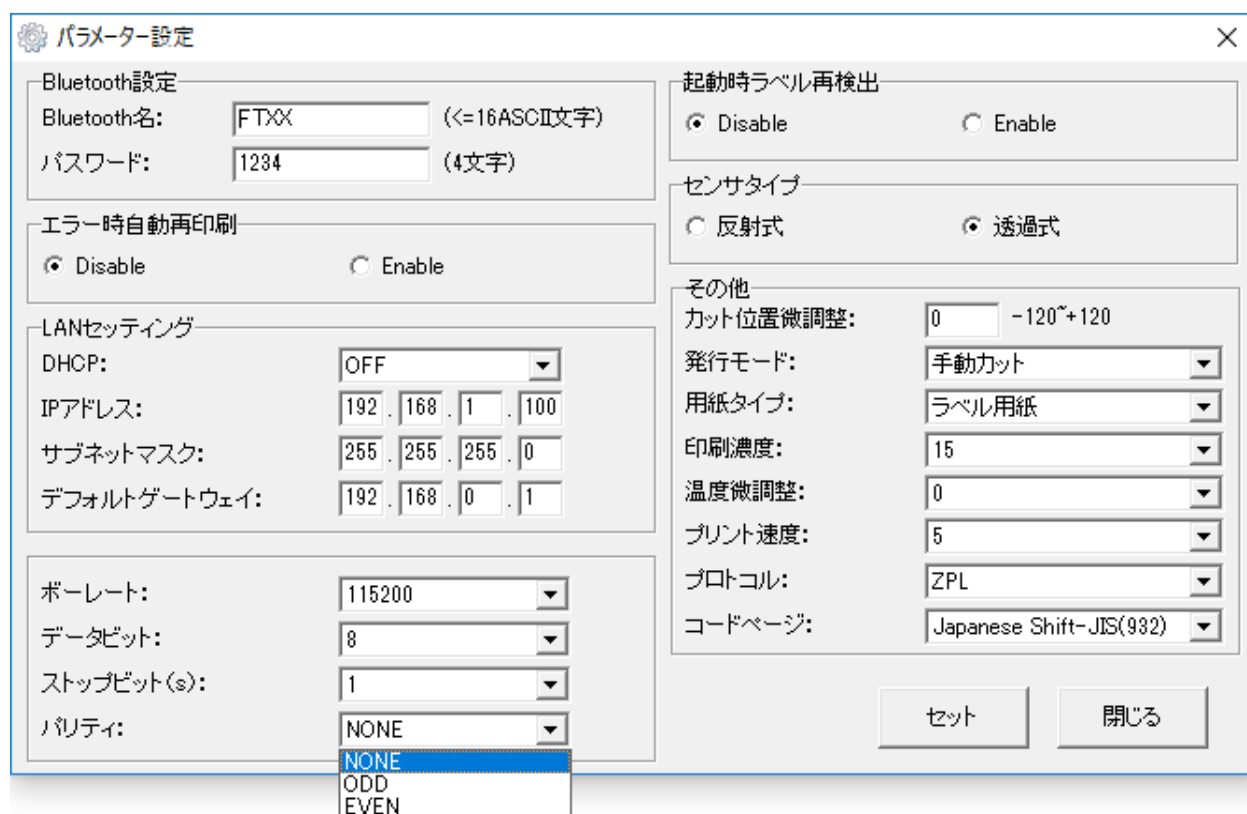
プリント速度: 5

プロトコル: ZPL

コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

パリティは下図のプルダウンメニューから設定できます。



パラメーター設定

Bluetooth設定
Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)
パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷
☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング
DHCP: OFF
IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100
サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200
データビット: 8
ストップビット(s): 1
パリティ: NONE (dropdown menu open showing NONE, ODD, EVEN)

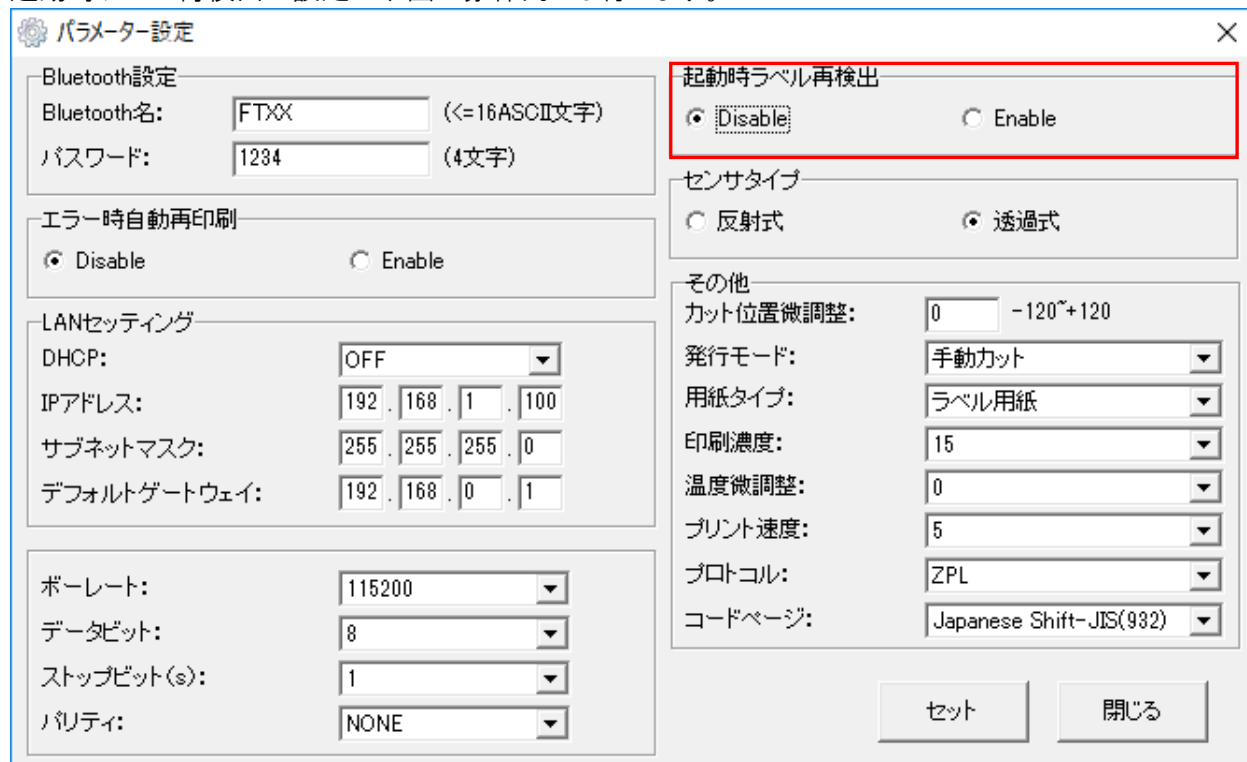
起動時ラベル再検出
☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ
☐ 反射式 ☒ 透過式

その他
カット位置微調整: 0 -120~+120
発行モード: 手動カット
用紙タイプ: ラベル用紙
印刷濃度: 15
温度微調整: 0
プリント速度: 5
プロトコル: ZPL
コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

起動時ラベル再検出の設定は下図の赤枠内から行えます。



パラメーター設定

Bluetooth設定
Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)
パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷
☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング
DHCP: OFF
IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100
サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200
データビット: 8
ストップビット(s): 1
パリティ: NONE

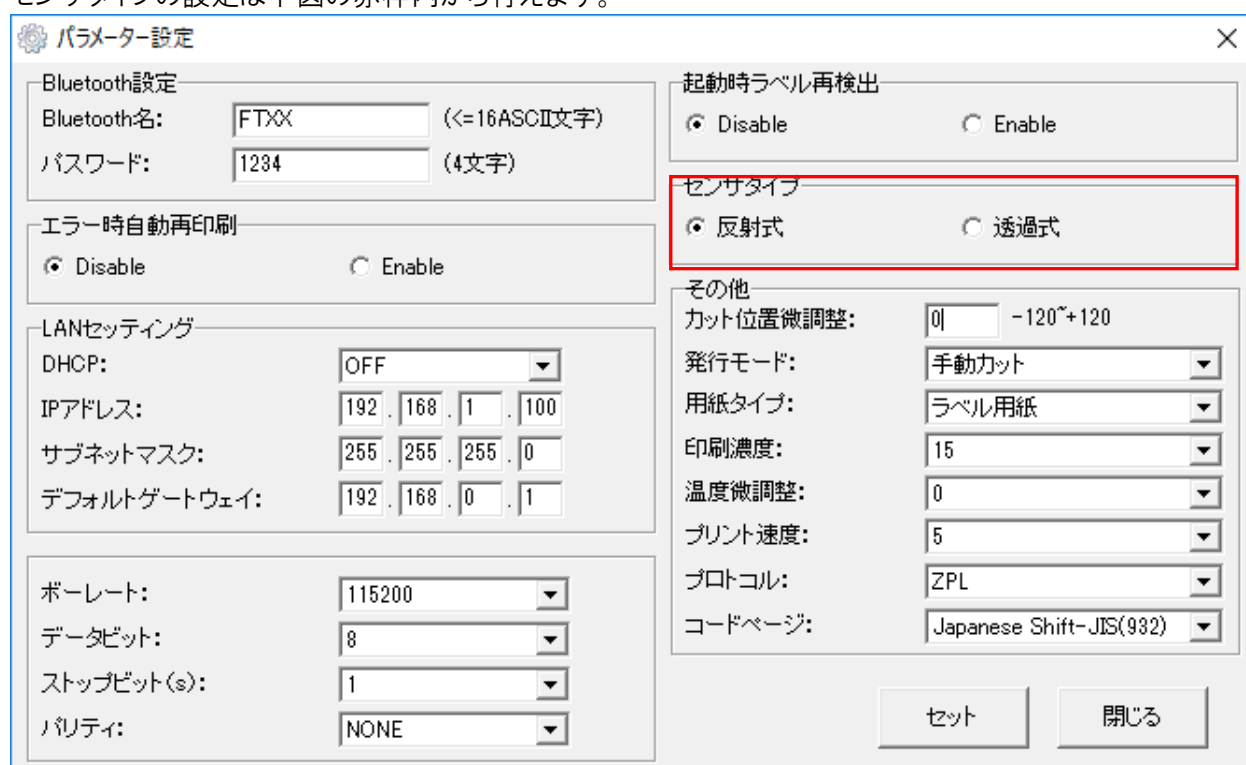
起動時ラベル再検出
☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ
☐ 反射式 ☒ 透過式

その他
カット位置微調整: 0 -120~+120
発行モード: 手動カット
用紙タイプ: ラベル用紙
印刷濃度: 15
温度微調整: 0
プリント速度: 5
プロトコル: ZPL
コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

センサタイプの設定は下図の赤枠内から行えます。



パラメータ設定

Bluetooth設定
Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)
パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷
☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング
DHCP: OFF
IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100
サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200
データビット: 8
ストップビット(s): 1
パリティ: NONE

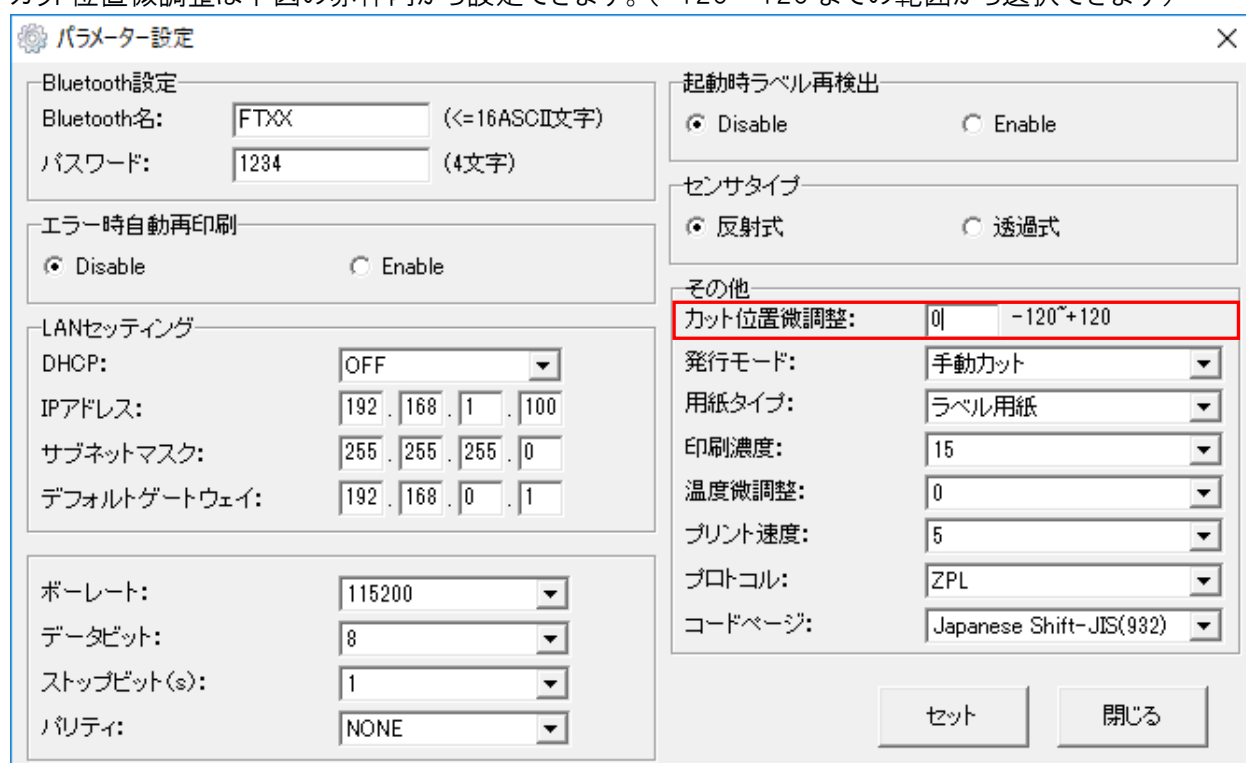
起動時ラベル再検出
☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ
☒ 反射式 ☐ 透過式

その他
カット位置微調整: 0 -120~+120
発行モード: 手動カット
用紙タイプ: ラベル用紙
印刷濃度: 15
温度微調整: 0
プリント速度: 5
プロトコル: ZPL
コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

カット位置微調整は下図の赤枠内から設定できます。(-120~120 までの範囲から選択できます)



パラメータ設定

Bluetooth設定
Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)
パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷
☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング
DHCP: OFF
IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100
サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200
データビット: 8
ストップビット(s): 1
パリティ: NONE

起動時ラベル再検出
☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ
☒ 反射式 ☐ 透過式

その他
カット位置微調整: 0 -120~+120
発行モード: 手動カット
用紙タイプ: ラベル用紙
印刷濃度: 15
温度微調整: 0
プリント速度: 5
プロトコル: ZPL
コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

発行モードは下図のプルダウンメニューから設定できます。

Bluetooth設定

Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)

パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷

☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング

DHCP: OFF

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200

データビット: 8

ストップビット(s): 1

パリティ: NONE

起動時ラベル再検出

☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ

☒ 反射式 ☐ 透過式

その他

カット位置微調整: 0 -120~+120

発行モード: 手動カット

用紙タイプ: 手動カット
オートピーラー
オートカッター

印刷濃度:

温度微調整: 0

プリント速度: 5

プロトコル: ZPL

コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

用紙タイプの指定を下図のプルダウンメニューから設定できます。
(ラベル用紙、アイマーク付き用紙、レシート連続紙などが使用できます。)

Bluetooth設定

Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)

パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷

☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング

DHCP: OFF

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200

データビット: 8

ストップビット(s): 1

パリティ: NONE

起動時ラベル再検出

☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ

☒ 反射式 ☐ 透過式

その他

カット位置微調整: 0 -120~+120

発行モード: 手動カット

用紙タイプ: ラベル用紙
アイマーク付き用紙
レシート連続紙

印刷濃度:

温度微調整: 0

プリント速度: 5

プロトコル: ZPL

コードページ: Japanese Shift-JIS(932)

セット 閉じる

印字濃度は下図のプルダウンメニューから設定できます。
(0～15 までの範囲から選択でき、0 が最も淡いものとします。)

Bluetooth設定

Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)

パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷

☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング

DHCP: OFF

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200

データビット: 8

ストップビット(s): 1

パリティ: NONE

起動時ラベル再検出

☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ

☒ 反射式 ☐ 透過式

その他

カット位置微調整: 0 -120~+120

発行モード: 手動カット

用紙タイプ: ラベル用紙

印刷濃度: 15

温度微調整: 15

プリント速度: 15

プロトコル: 15

コードページ: 15

セット 閉じる

温度微調整は下図のプルダウンメニューから設定できます。
(-50～50 までの範囲から選択できます)

Bluetooth設定

Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)

パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷

☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング

DHCP: ON

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200

データビット: 8

ストップビット(s): 1

パリティ: NONE

起動時ラベル再検出

☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ

☐ 反射式 ☒ 透過式

その他

カット位置微調整: 0 -120~+120

発行モード: 手動カット

用紙タイプ: ラベル用紙

印刷濃度: 15

温度微調整: 0

プリント速度: 0

プロトコル: 0

コードページ: 0

セット 閉じる

プリント速度は下図のプルダウンメニューから設定できます。(2, 3, 4, 5 の間から選択できます。)

Bluetooth設定

Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)

パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷

☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング

DHCP: ON

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200

データビット: 8

ストップビット(s): 1

パリティ: NONE

起動時ラベル再検出

☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ

☐ 反射式 ☒ 透過式

その他

カット位置微調整: 0 -120~+120

発行モード: 手動カット

用紙タイプ: ラベル用紙

印刷濃度: 15

温度微調整: 0

プリント速度: 5

プロトコル: 2
3
4
5

コードページ: 5

セット 閉じる

プロトコルは下図のプルダウンメニューから設定できます。

Bluetooth設定

Bluetooth名: FTX (≦16ASCII文字)

パスワード: 1234 (4文字)

エラー時自動再印刷

☒ Disable ☐ Enable

LANセッティング

DHCP: ON

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 100

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

ボーレート: 115200

データビット: 8

ストップビット(s): 1

パリティ: NONE

起動時ラベル再検出

☒ Disable ☐ Enable

センサタイプ

☐ 反射式 ☒ 透過式

その他

カット位置微調整: 0 -120~+120

発行モード: 手動カット

用紙タイプ: ラベル用紙

印刷濃度: 15

温度微調整: 0

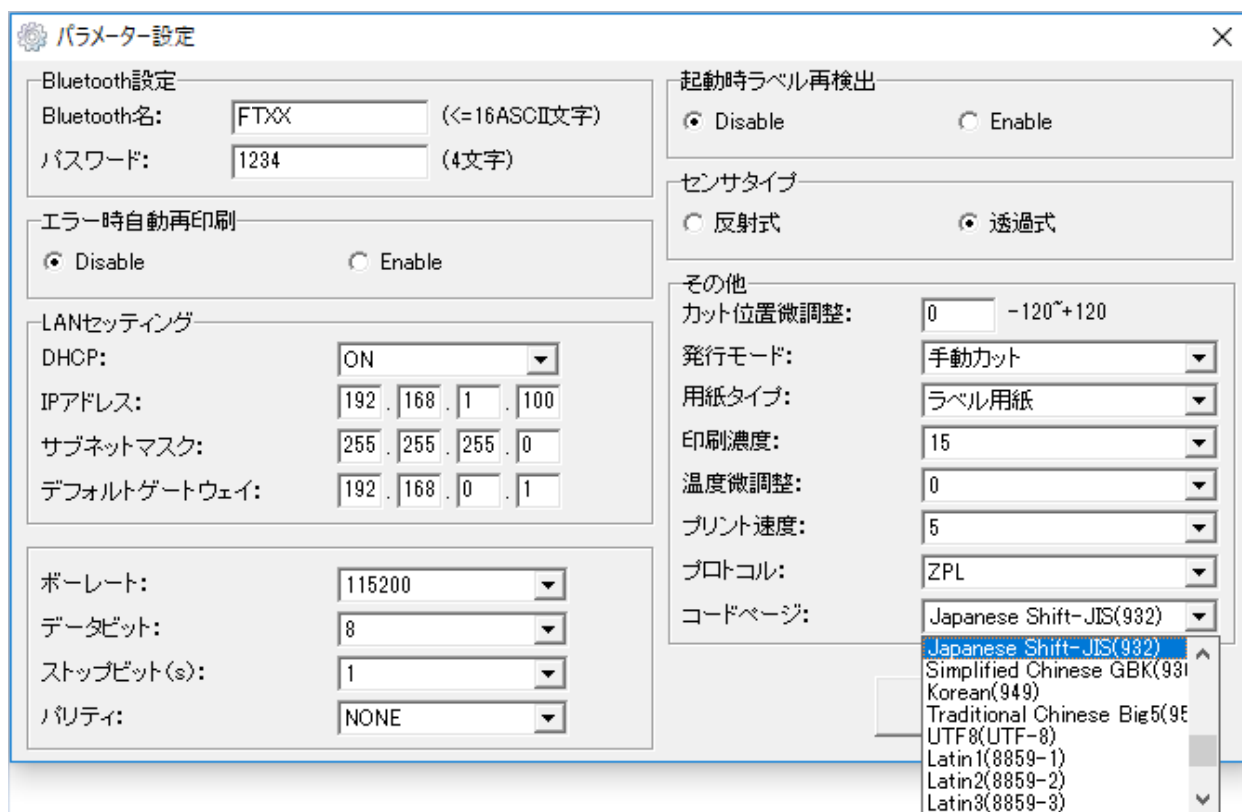
プリント速度: 5

プロトコル: ZPL
TSC
ZPL

コードページ: ZPL

セット 閉じる

コードページは下図のプルダウンメニューから設定できます。

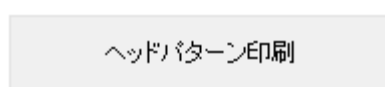


The dialog box is titled "パラメーター設定" (Parameter Setting). It contains several sections:

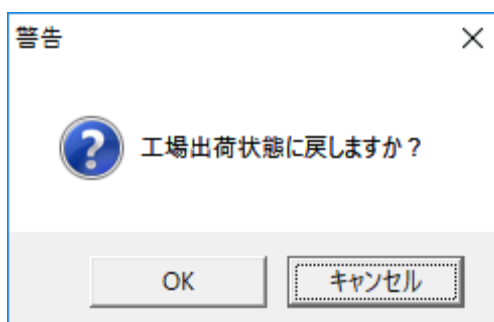
- Bluetooth設定** (Bluetooth Setting): Bluetooth名 (FTXX), パスワード (1234).
- エラー時自動再印刷** (Automatic reprinting when error occurs): Disable (selected), Enable.
- LANセッティング** (LAN Setting): DHCP (ON), IPアドレス (192.168.1.100), サブネットマスク (255.255.255.0), デフォルトゲートウェイ (192.168.0.1).
- 起動時ラベル再検出** (Label re-detection at startup): Disable (selected), Enable.
- センサタイプ** (Sensor type): 反射式, 透過式 (selected).
- その他** (Others):
 - カット位置微調整: 0 -120~+120
 - 発行モード: 手動カット
 - 用紙タイプ: ラベル用紙
 - 印刷濃度: 15
 - 温度微調整: 0
 - プリント速度: 5
 - プロトコル: ZPL
 - コードページ: Japanese Shift-JIS(932) (selected in the dropdown menu)
- ボーレート** (Baud rate): 115200
- データビット** (Data bits): 8
- ストップビット(s)** (Stop bits): 1
- パリティ** (Parity): NONE

「セット」ボタンを押すと以上のすべての項目の変更を保存し、メインメニューへ戻ります。

- 「ヘッドパターン印刷」をクリックするとプリントヘッド印刷を行い、プリントヘッドの状態を見ることができます。



- 「初期設定」ボタンを押すと、変更した設定をすべて元に戻すことができます。



「閉じる」をクリックすると以上の画面から退出し、設定を完了します。

6. Seagull windows ドライバー

6.1 ドライバーについて

本ドライバーは以下の OS に対応しています

- Microsoft Windows 10 (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows 8 (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows 7 SPI (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows Vista SP2 (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows Server 2012(64 bit)
- Microsoft Windows Server 2008 R2
- Microsoft Windows Server 2008 SP2(32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows Server 2003 R2 SP2(32 bit/64 bit)

6.2 インストールの準備

同梱の CD より Seagull ドライバーのインストーラーを起動し、インストールできます。

6.3 ドライバーのインストール



注意:

1.下記の操作画面は Windows7 を操作した際のものです。お使いの OS により操作画面が異なる可能性があります。あらかじめご了承ください。

2.ドライバーのスムーズなインストールのため、インストールする前にファイアウォールなどのウイルス対策ソフトウェアを一時的に停止させることを推奨します。

1.特定のインターフェイスを通じてプリンター本体とお使いのパソコンを接続してください。

2.プリンターを起動して、パソコンとしっかり接続されているかを確認してください。

3.CD 内の Seagull ドライバーインストーラをダブルクリックし、開いてください。



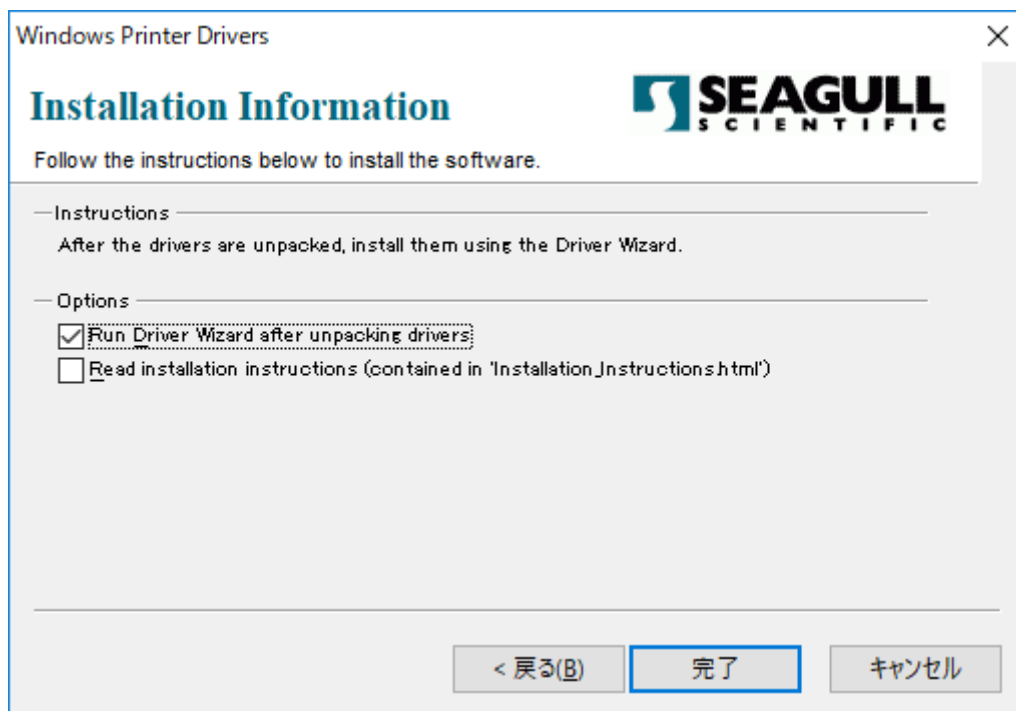
4.下のような画面が開きましたら、「I accept the terms in the license agreement」の項目をチェックし、「次へ」を選択してください。



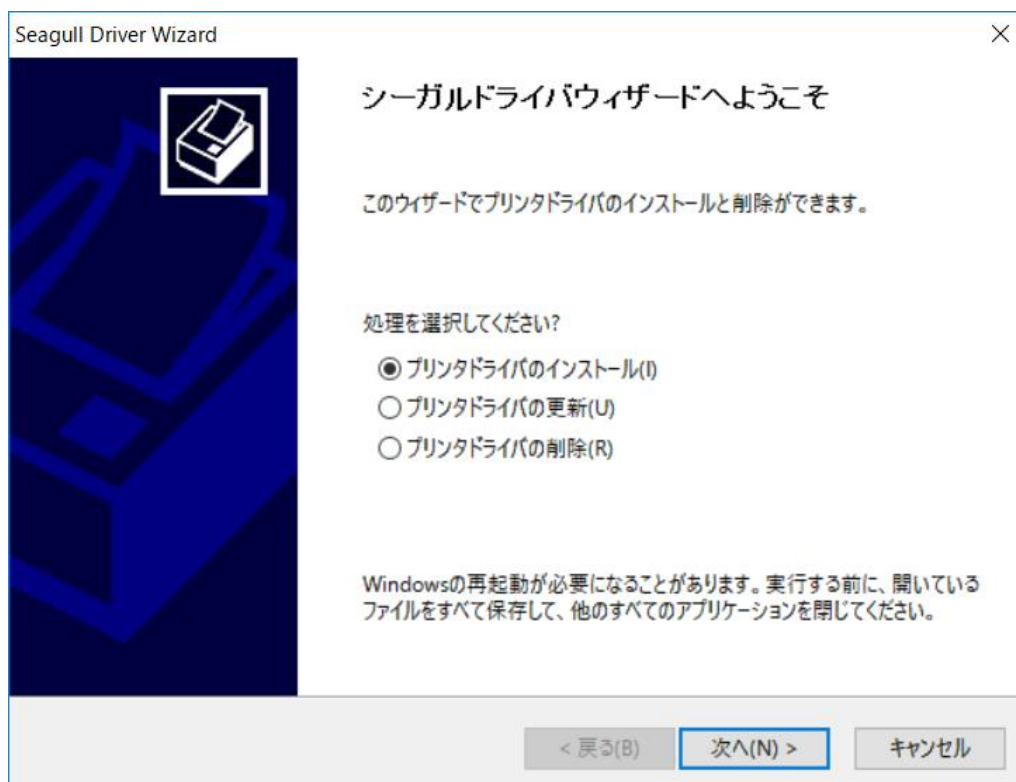
5.インストールする場所を指定したら、「次へ」をクリックしてください。



6.下図のような画面になりましたら“Run Driver Wizard after unpacking drivers”にチェックして、「完了」をクリックしてください。

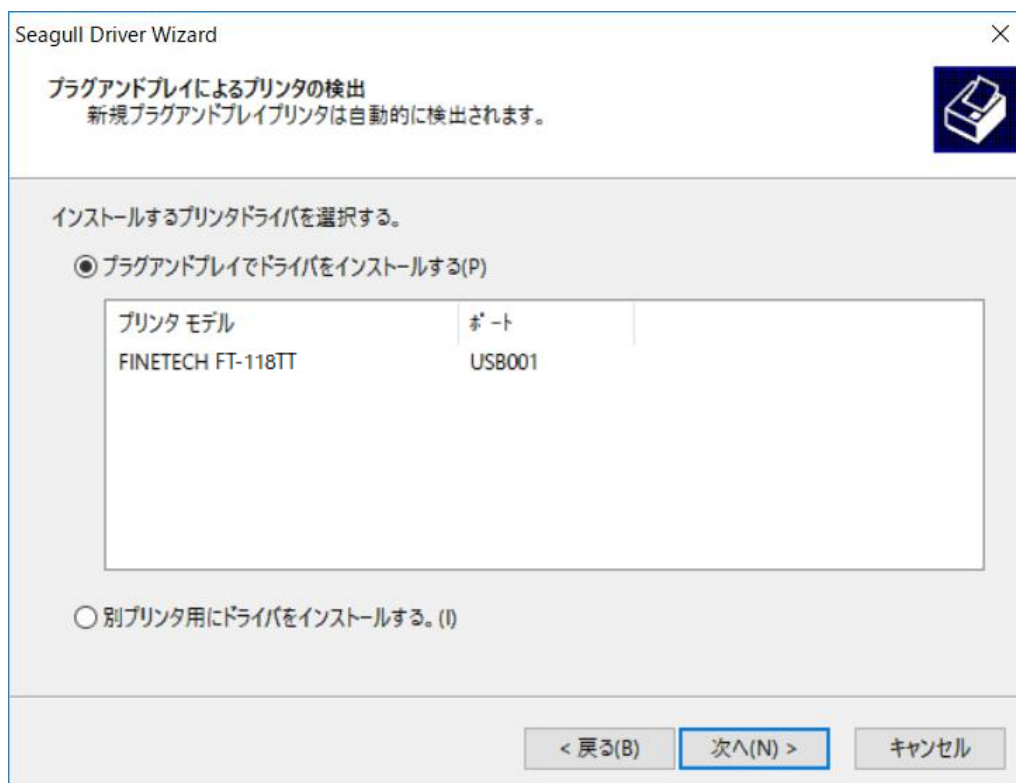


7.「プリンタードライバーのインストール」を選択し、「次へ」をクリックします。

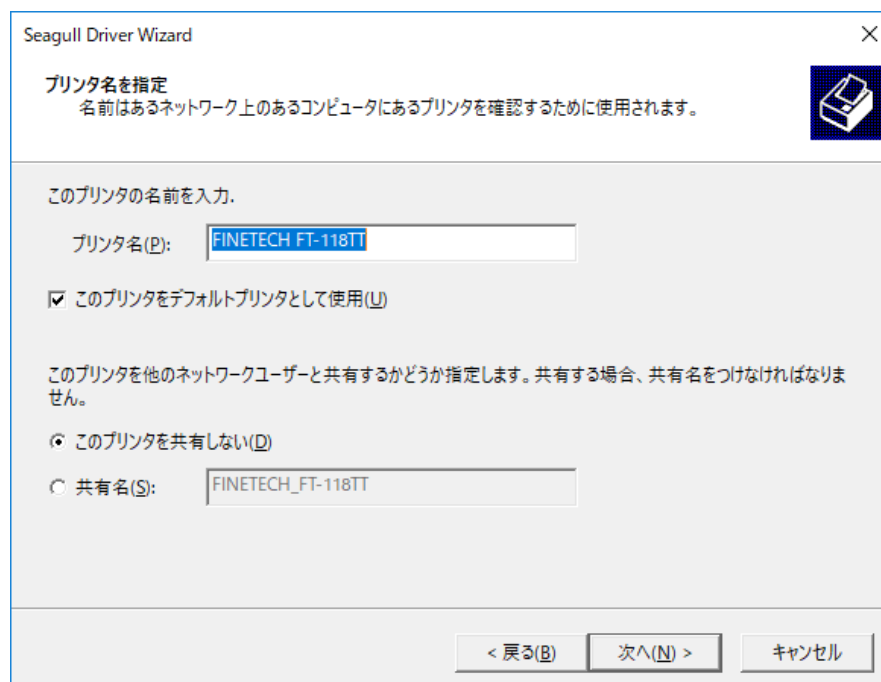


注意: プリンター本体とパソコンを、インターフェイスを通じて接続した場合、上記のプリンタードライバーのインストールウィザードは自動的に開始されます。(例: USB インターフェイスでパソコンとプリンターを接続した場合など。)

8.「プラグアンドプレイでドライバーをインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。



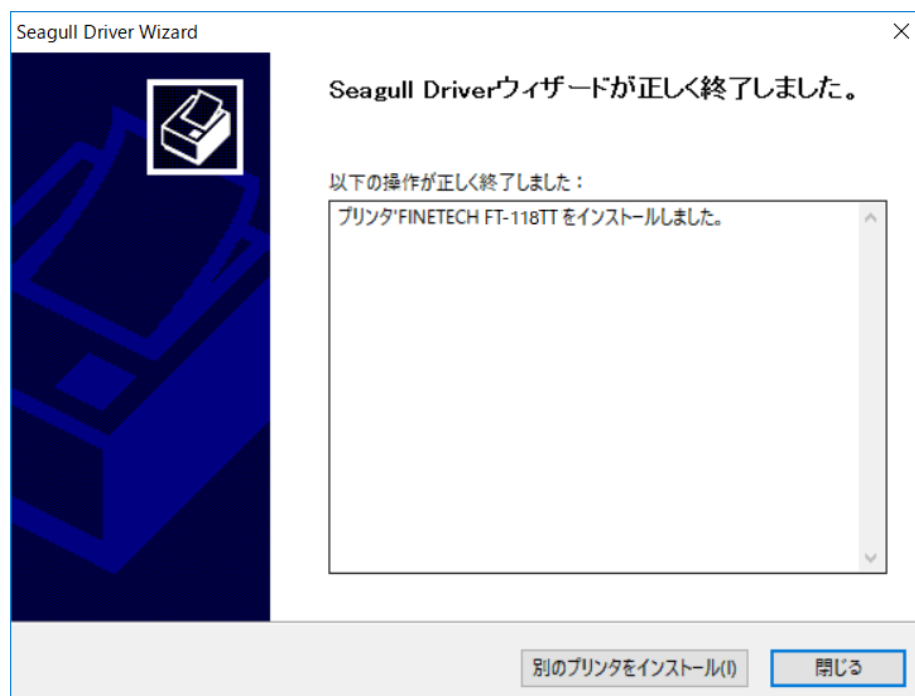
9. プリンターの名前を入力し、「次へ」をクリックします。



10. 「完了」をクリックします。



11. 「閉じる」をクリックしますと、以上で本ドライバーのインストールは完了となります。



12.本ドライバーは「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「デバイスとプリンター」より、下図のようなアイコンから確認できます。

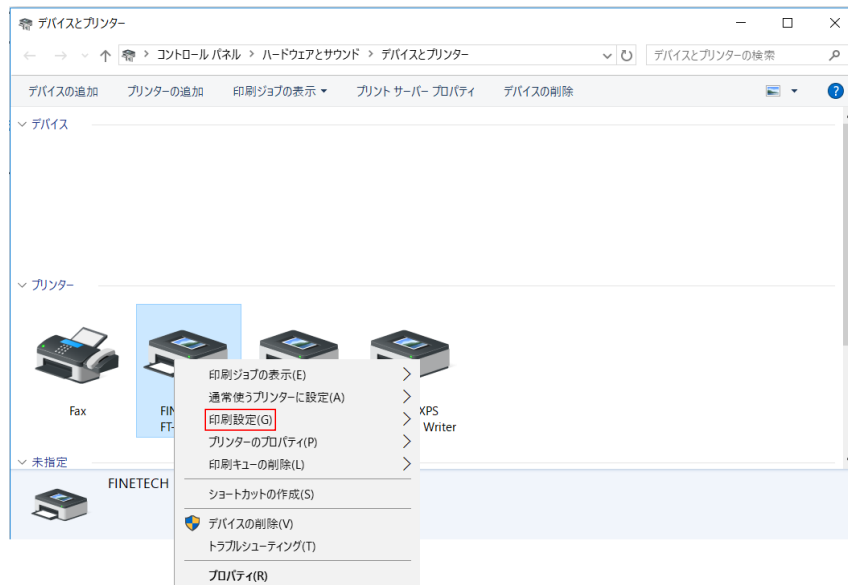


注意：すでにドライバーが存在する状態でUSB 接続した場合、USB 接続用のポートが生成されます。もしこれが生成されなかった場合は、同梱の CD に入っているプリンターユーティリティよりこの問題の対応が可能となります。

6.4 ドライバーの使用法

6.4.1 プリンターのメインメニュー

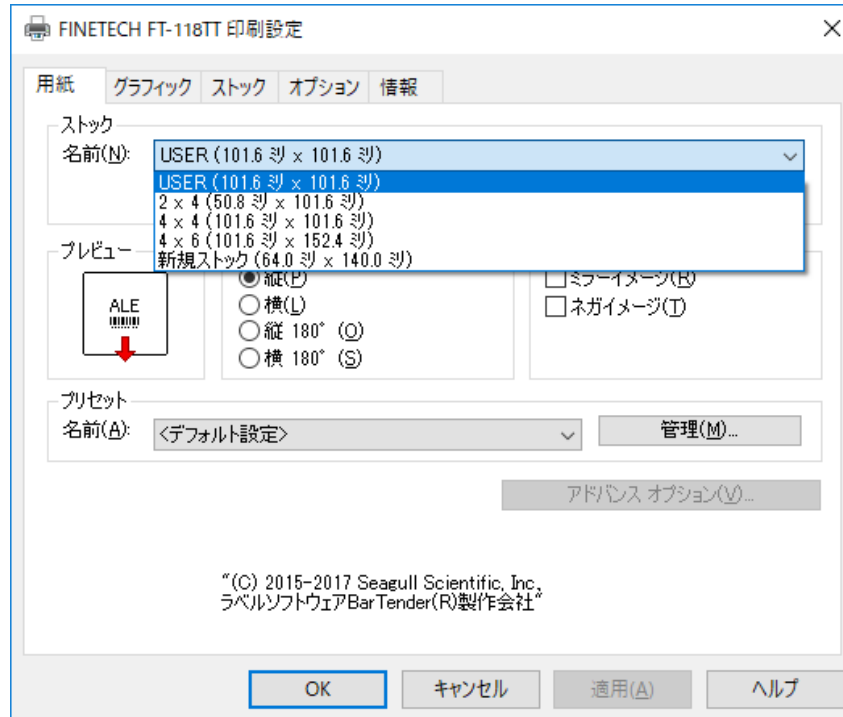
1. 「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「デバイスとプリンター」より、プリンターを右クリックして、「印刷設定」を選択します。



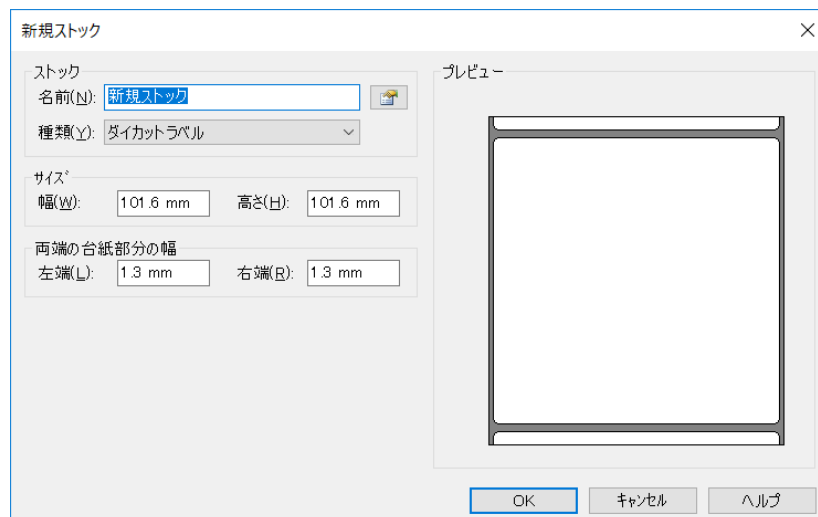
2. 「用紙」の項目から印刷の向きや、効果などの設定を変更することができます。



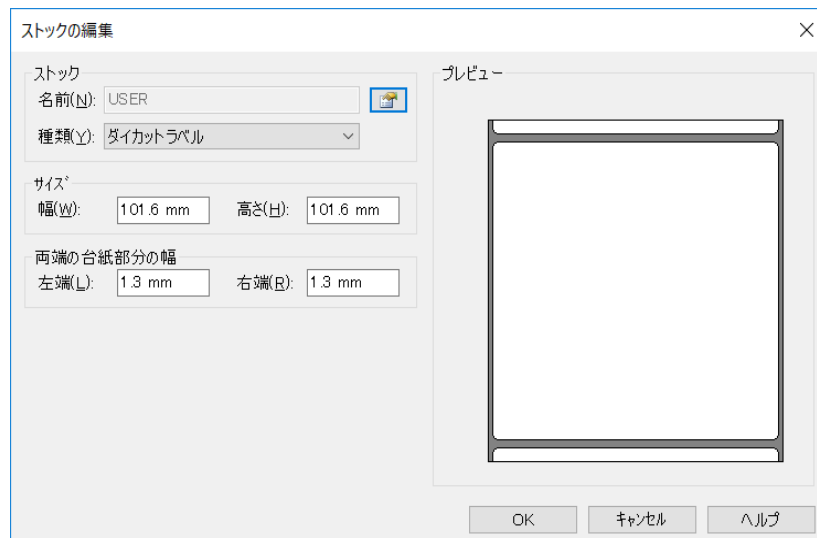
- 「用紙」タブの「ストック」にある、「名前」を選択することで、プルダウンメニューを展開し、設定した用紙の規格を選択することができます。上記のステップでストックを選択しましたら、「ストック」枠内の「新規」、「編集」、「削除」の3つのボタンより、選択したストックへの変更などが行えます。



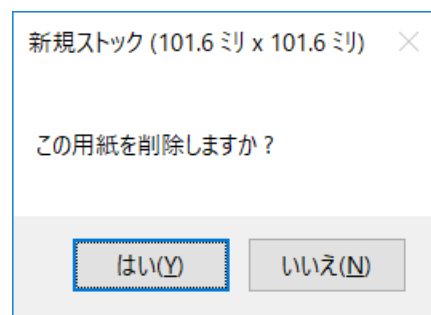
- 「新規」をクリックすることで、下図のように「新規ストック」ウィンドウが出現します。このウィンドウ内では新しくストックの設定を編集し、追加することができます。



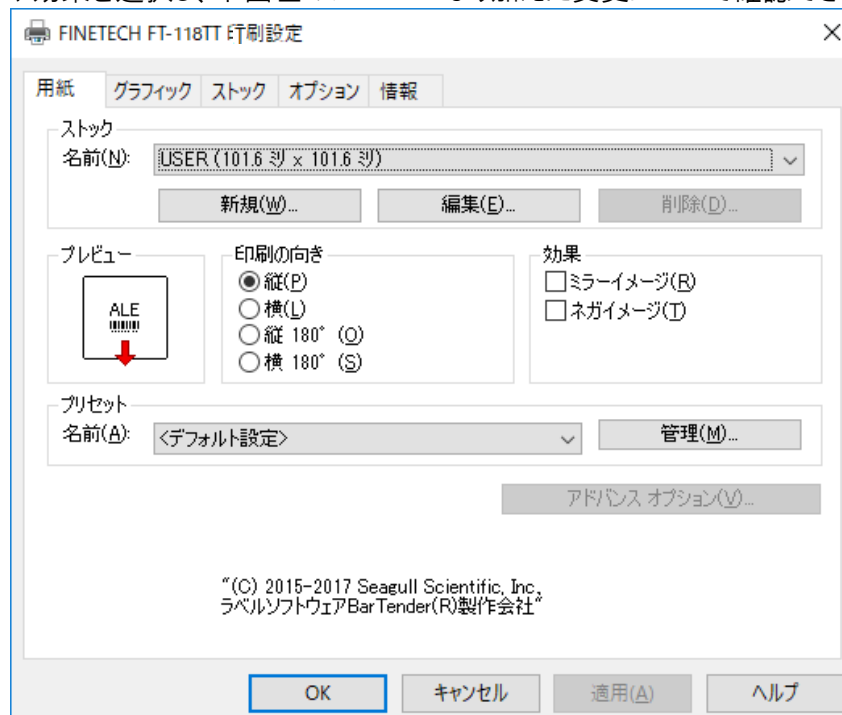
- 「編集」をクリックすると、下図の「ストックの編集」ウィンドウで、ストックの編集を行えます。



- 「削除」をクリックすると、選択中のストックを削除することができます。



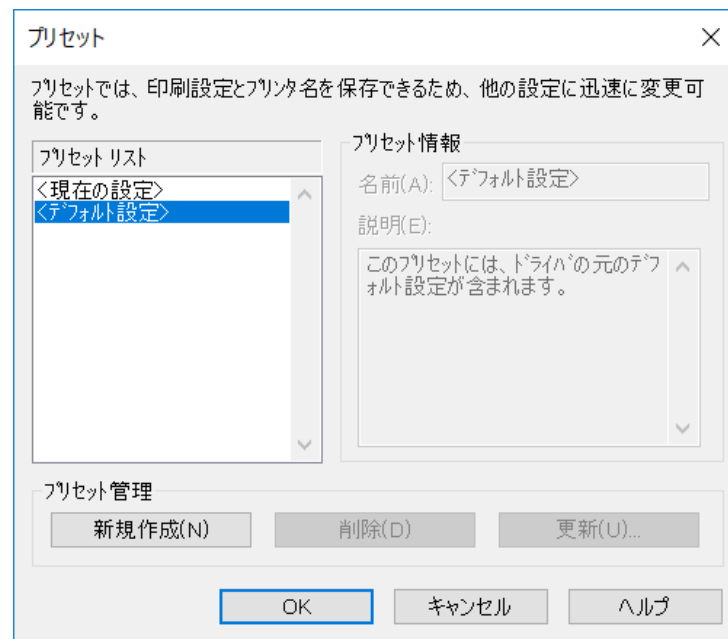
- 印刷の向きや効果を選択し、下図左のプレビューより加えた変更について確認できます。



- 「プリセット」枠内より、印刷の設定を元の状態へ戻すことができます。その際は、「名前」よりプリセット設定を指定してください。



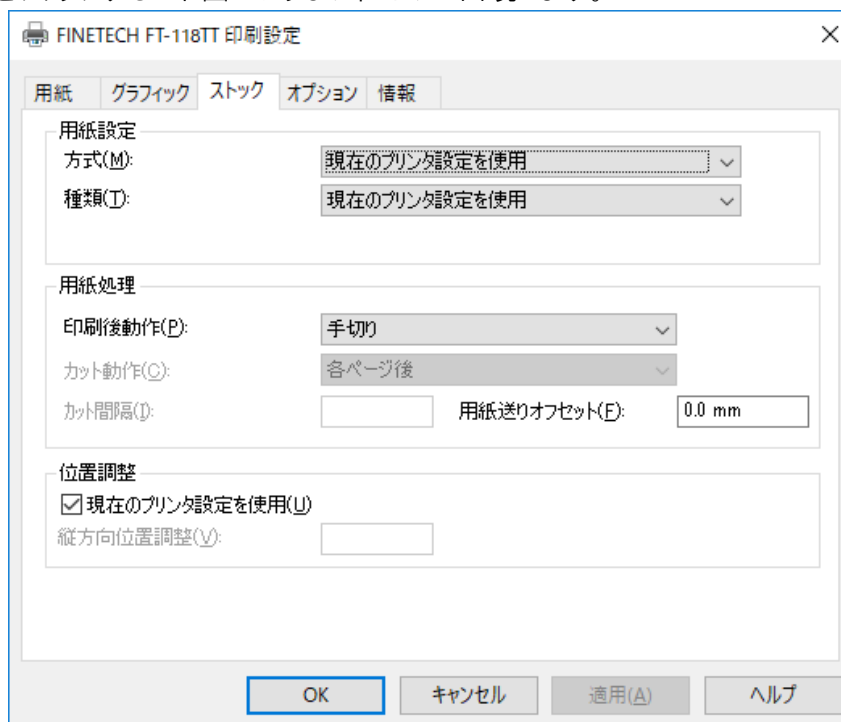
- また、「管理」ボタンをクリックすることで下図のウィンドウを出現させ、プリセットについての変更を行うことができます。



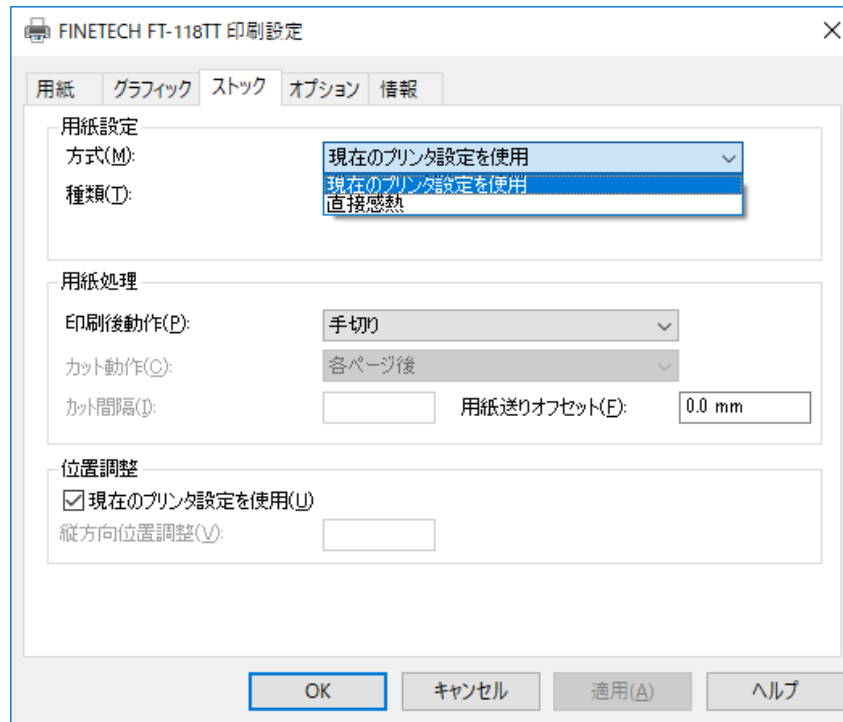
3.「グラフィック」タブをクリックすると、印刷した際出力される画像について編集することができます。



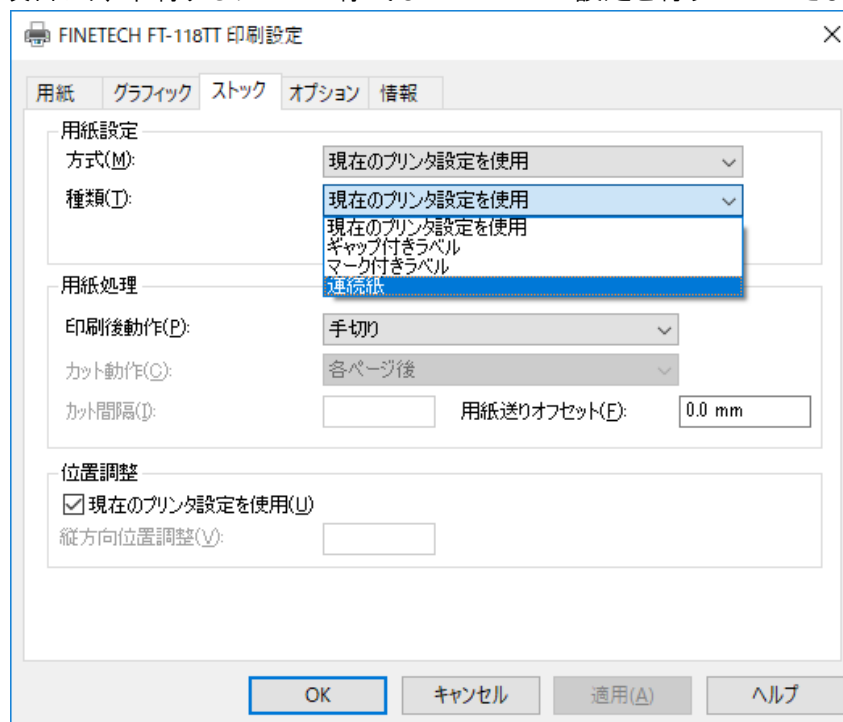
4.「ストック」タブをクリックすると下図のようなウィンドウが出現します。



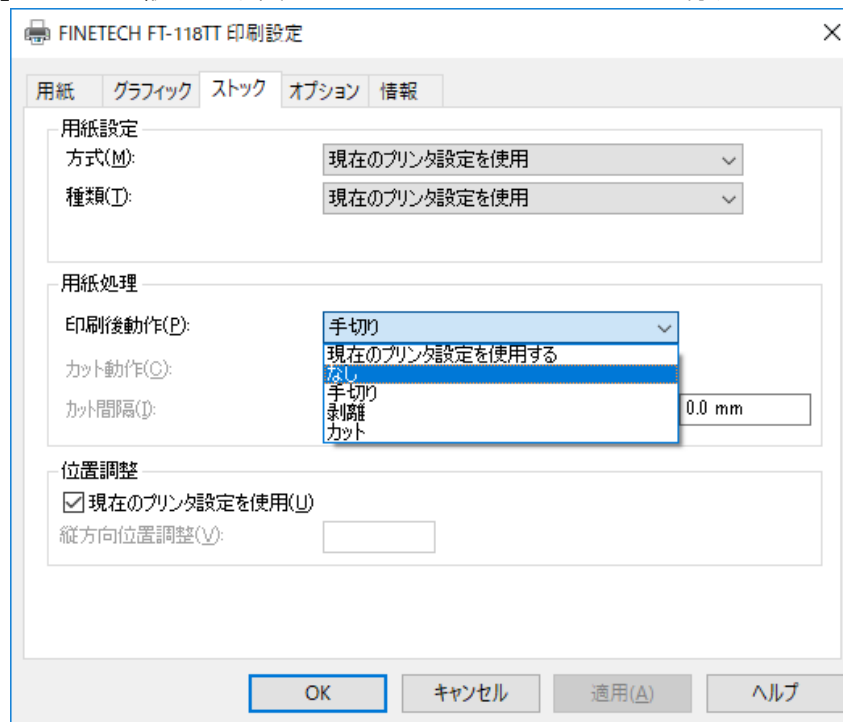
- 「用紙設定」枠内の「方式」の項目より、印刷方式を変更することができます。（ただし、FT-118TT は熱転写式には対応していません。）



- 「種類」の項目より、印刷するラベルの様式などについての設定を行うことができます。



- 「用紙処理」についての設定は下図に示されたプルダウンメニューより行うことができます。



FINETECH FT-118TT 印刷設定

用紙 グラフィック ストック オプション 情報

用紙設定

方式(M): 現在のプリンタ設定を使用

種類(T): 現在のプリンタ設定を使用

用紙処理

印刷後動作(P): 手切り

カット動作(C): 現在のプリンタ設定を使用する

カット間隔(D): 0.0 mm

位置調整

☒ 現在のプリンタ設定を使用(U)

縦方向位置調整(V):

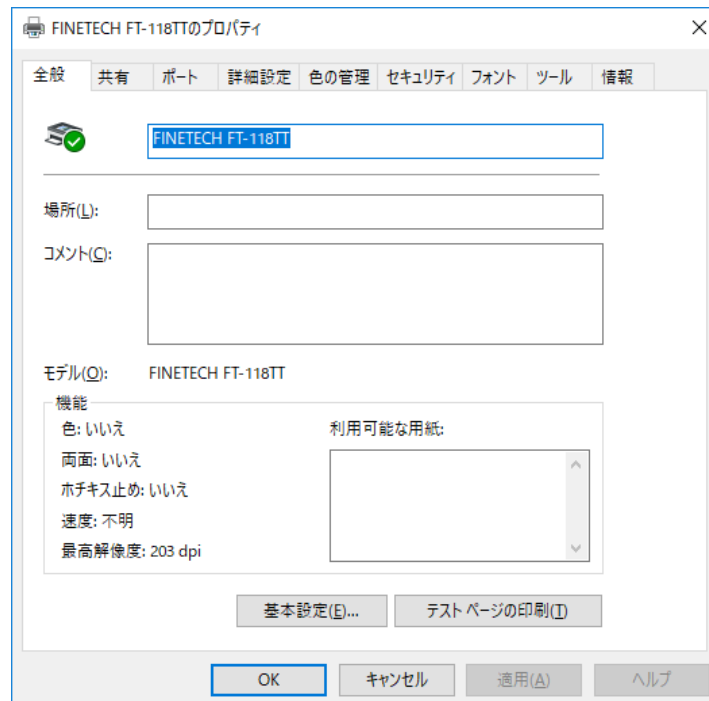
OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

6.4.2 テスト印刷について

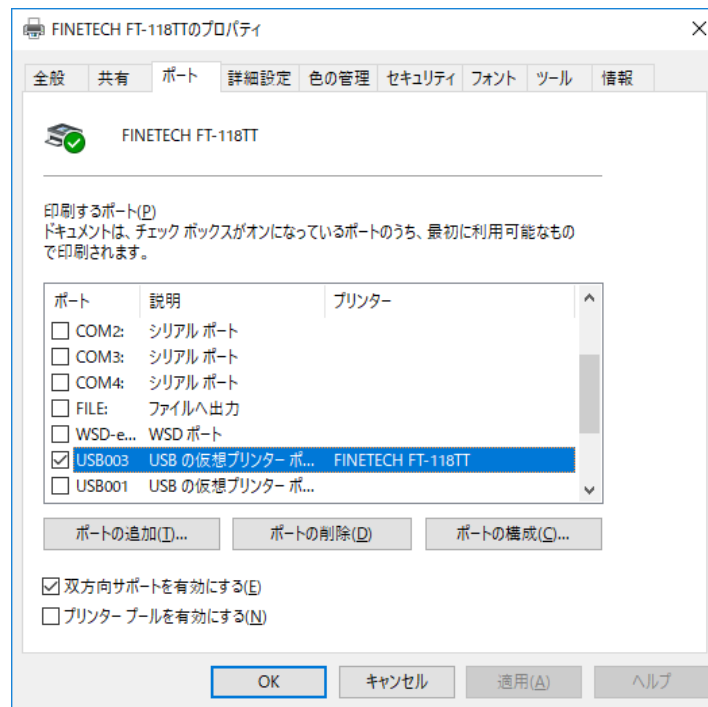
1. 「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「デバイスとプリンター」より、プリンターを右クリックして、「プリンターのプロパティ」を選択します。



2. 「全般」タブの中に、「テストページの印刷」をクリックするとテスト印刷ができます。

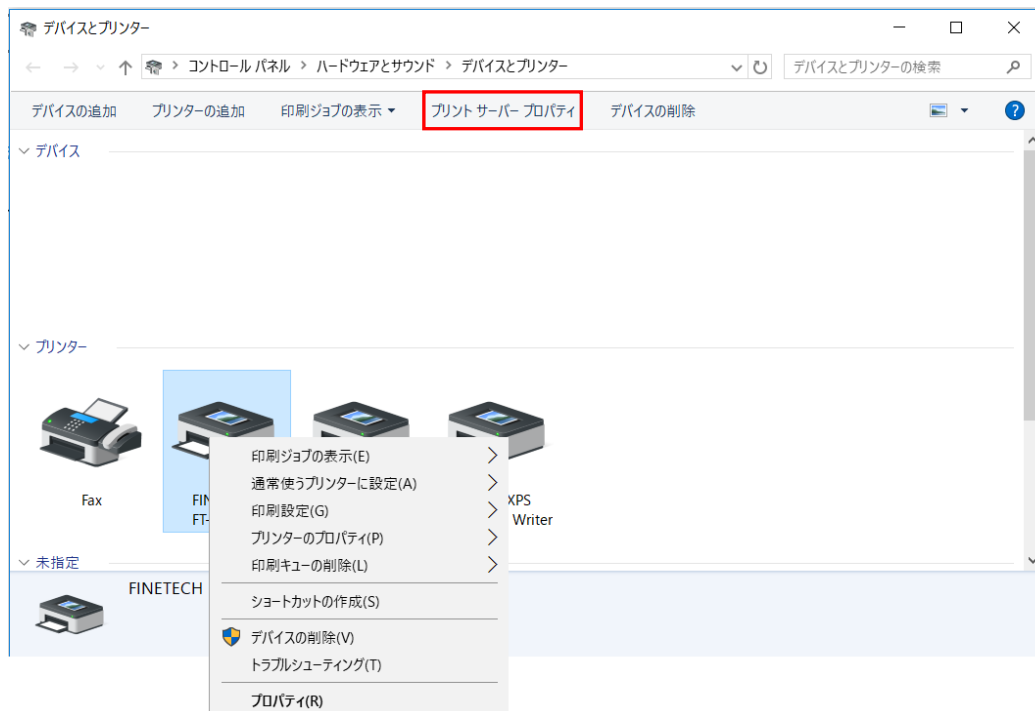


3.「ポート」タブをクリックすることで下図のウィンドウを表示し、「ポート」の種類を選択することができます。



6.4.3 用紙サイズ

1. 「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「デバイスとプリンター」を開き、「プリントサーバープロパティ」を開きます。



2. 下図の赤枠を参考に、「新しい用紙を作成する」の項目にチェックして「用紙名」を入力し、「用紙の説明（単位）」枠内の数値を編集します。編集が終了したら、「用紙の保存」をクリックしてください。



プリントサーバーのプロパティ

用紙 ポート ドライバー セキュリティ 詳細設定

用紙(F): LAPTOP-EJHHEAS0

10×11
10×14
100mm * 100mm
100mm * 113mm

削除(D)

用紙の保存(S)

用紙名(N): 10×11

☒ 新しい用紙を作成する(C)

既存の名前とサイズを編集して新しい用紙を定義し、[用紙の保存] をクリックしてください。

用紙の説明 (単位)

単位: ☒ メートル法(M) ☐ ヤードポンド法(E)

用紙サイズ: 余白:

幅(W): 25.40cm 左(L): 0.00cm 上(T): 0.00cm
高さ(H): 27.94cm 右(R): 0.00cm 下(B): 0.00cm

用紙設定の変更(G)

OK キャンセル 適用(A)

3. 「用紙」の一覧より、新しく作成されました用紙設定が保存されているかを確認してください。



プリントサーバーのプロパティ

用紙 ポート ドライバー セキュリティ 詳細設定

用紙(F): LAPTOP-EJHHEAS0

10×11
10×14
100mm * 100mm
100mm * 113mm

削除(D)

用紙の保存(S)

用紙名(N): 10×11

☐ 新しい用紙を作成する(C)

既存の名前とサイズを編集して新しい用紙を定義し、[用紙の保存] をクリックしてください。

用紙の説明 (単位)

単位: ☒ メートル法(M) ☐ ヤードポンド法(E)

用紙サイズ: 余白:

幅(W): 25.40cm 左(L): 0.00cm 上(T): 0.00cm
高さ(H): 27.94cm 右(R): 0.00cm 下(B): 0.00cm

用紙設定の変更(G)

OK キャンセル 適用(A)

6.5 用紙のサイズ

USER(101.6mm×101.6mm)

2×4(50.8mm×101.6mm)

4×4(101.6mm×101.6mm)4×4(101.6mm×101.6mm)

7. BarTender Ultralite

7.1 BarTender Ultralite について

本ソフトウェアは以下の OS(32bit/64bit)に対応しています。

- Microsoft Windows 10 (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows 8 (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows 7 SPI (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows Server 2012(64 bit)
- Microsoft Windows Server 2008 R2
- Microsoft Windows Server 2008 SP2(32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows Server 2003 R2 SP2(32 bit/64)

7.2 インストールの準備

同梱の CD より BarTender Ultralite のインストーラーを獲得し、お使いのパソコンへインストールすることができます。

7.3 インストール



注意:

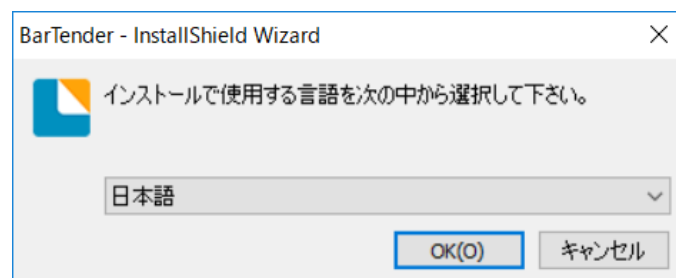
- 下記の操作画面は Windows10 を操作した際のものとなります。お使いのパソコンの OS によっては操作画面が異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1. CD 内 BarTender Ultralite をダブルクリックし、開いてください。

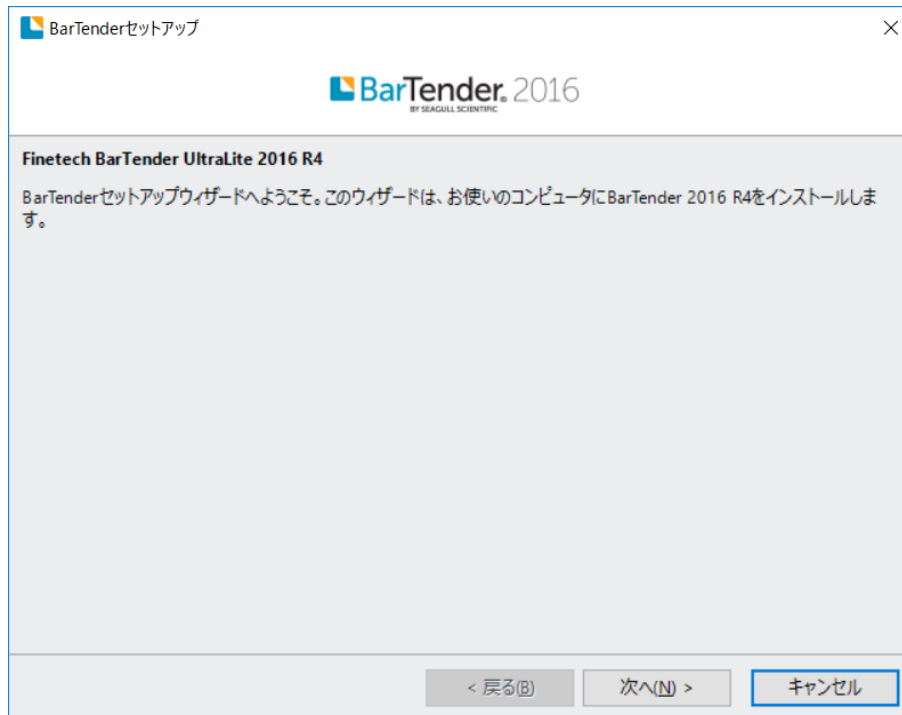


BT2016_R4_3127_UL_FineTech

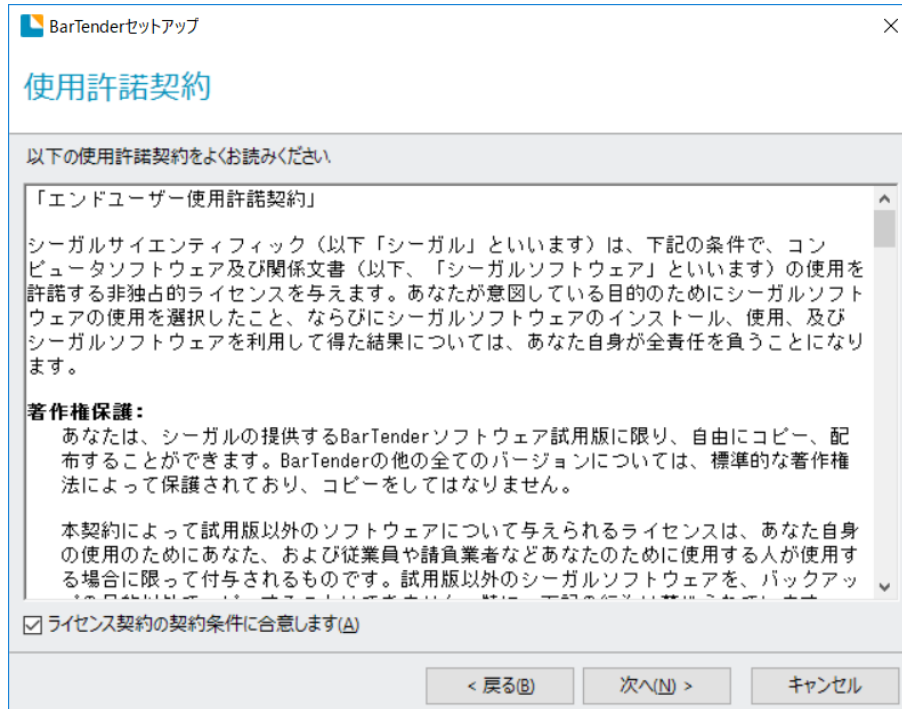
2. 言語を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



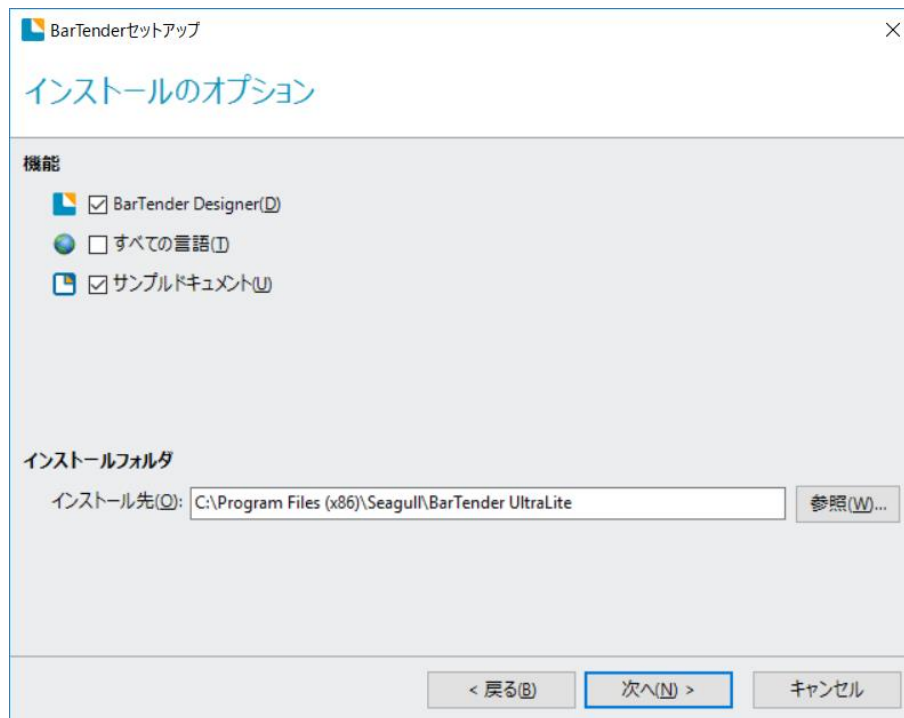
3「次へ」をクリックしてください。



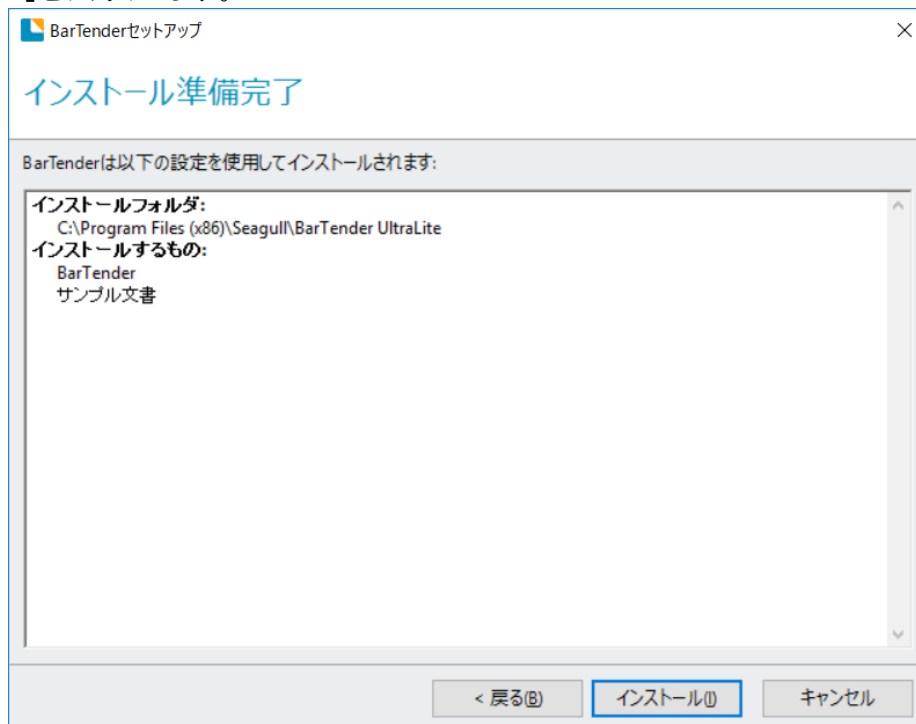
4.使用許諾契約をよくお読みの上に、「ライセンス契約の契約条件に合意します」の項目をチェックし、「次へ」をクリックします。



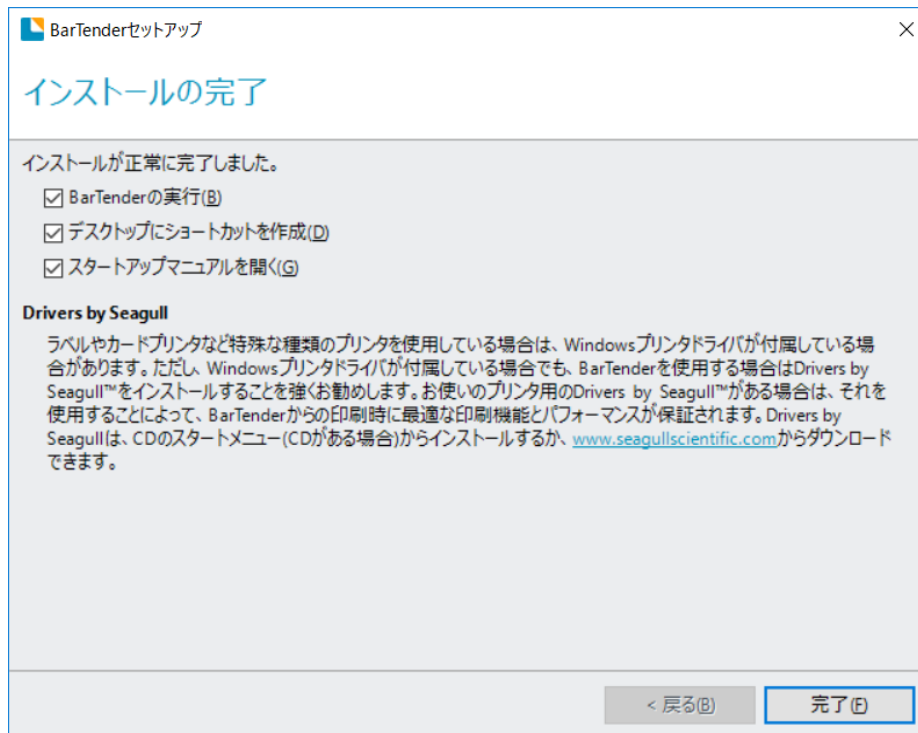
5.インストールする機能とインストールする場所を指定し終わりましたら、「次へ」をクリックします。



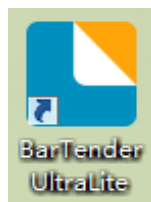
6.「インストール」をクリックします。



7.以上で BarTender Ultralite のインストールが完了します。



8.デスクトップに BarTender Ultralite のショートカットキーが生成されます。

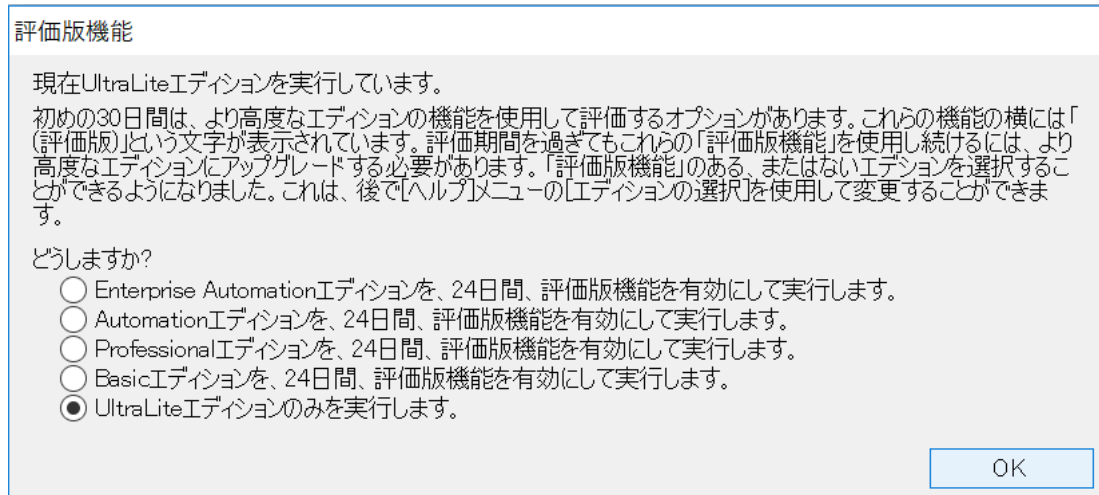


7.4 ソフトの使用方法

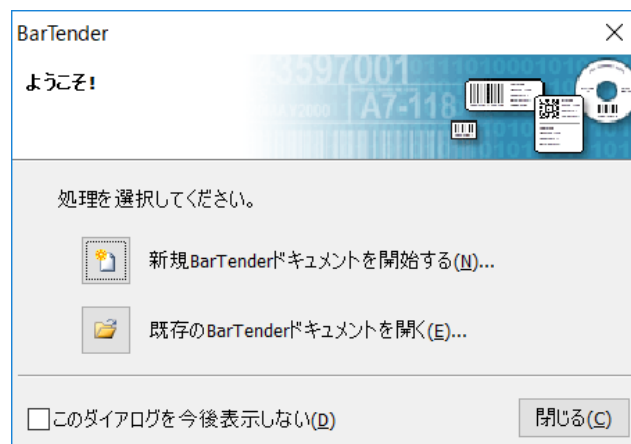
インストールを終えた後、BarTender Ultralite のショートカットキーをダブルクリックし、ソフトウェアを起動します。

7.4.1 ソフトウェア設置

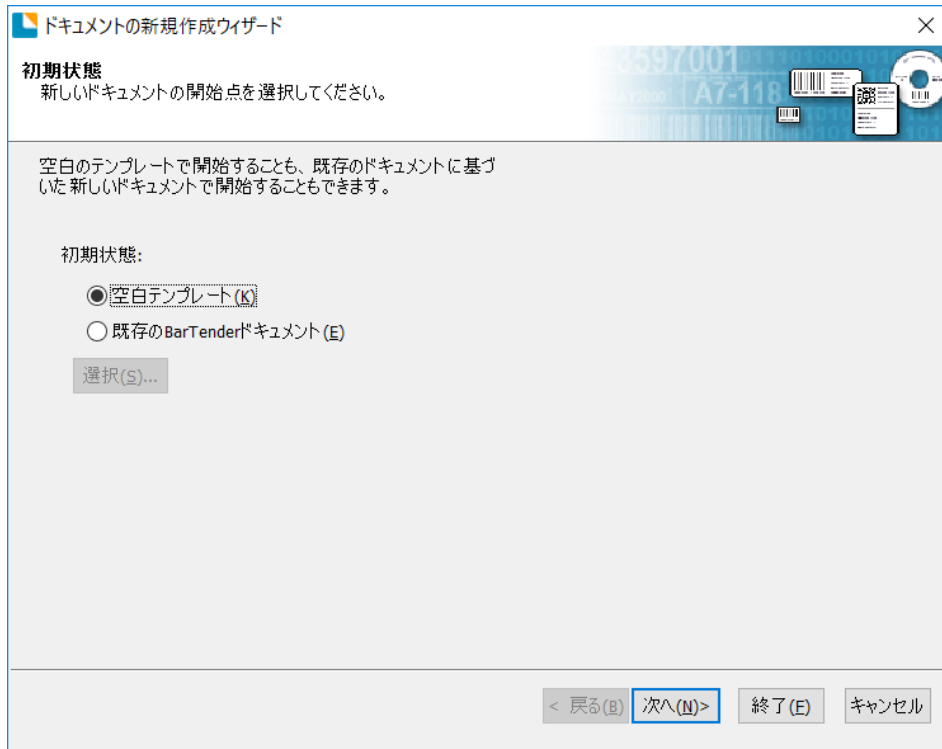
1. ソフトウェアが起動したら、以下のような画面が出てきます。複数の項目の中から使いたいバージョンを選択し、「決定」をクリックします。



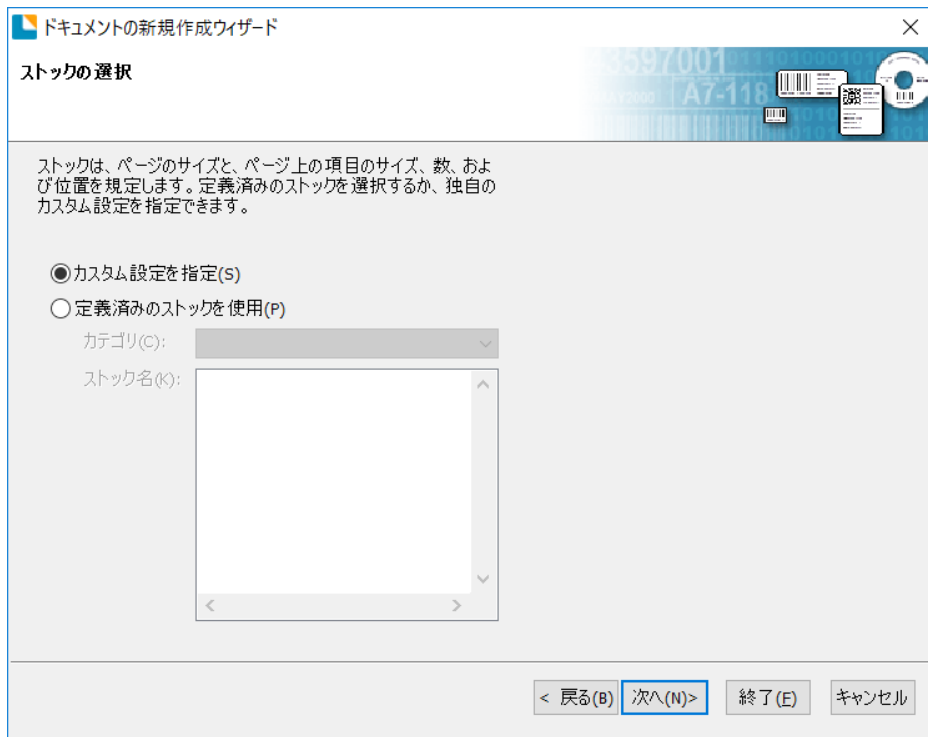
2. 「新規 BarTender ドキュメントを開始する」の項目をクリックします。



3.「空白テンプレート」を選択し、「次へ」をクリックします。



4.既存の用紙設定が見つからない場合は、「カスタム設定を指定」を選択してください。



5.ラベルの種類を指定し、「次へ」をクリックします。
 (通常のラベル用紙ならば「ページあたり1つのアイテム」を選択し、複列式ラベル用紙ならば「ページあたり複数の列または行」の項目を選択し、行数と列数を指定したうえで「次へ」を選択してください。)



ドキュメントの新規作成ウィザード

ページあたりのアイテム
メディアの特徴を指定してください。

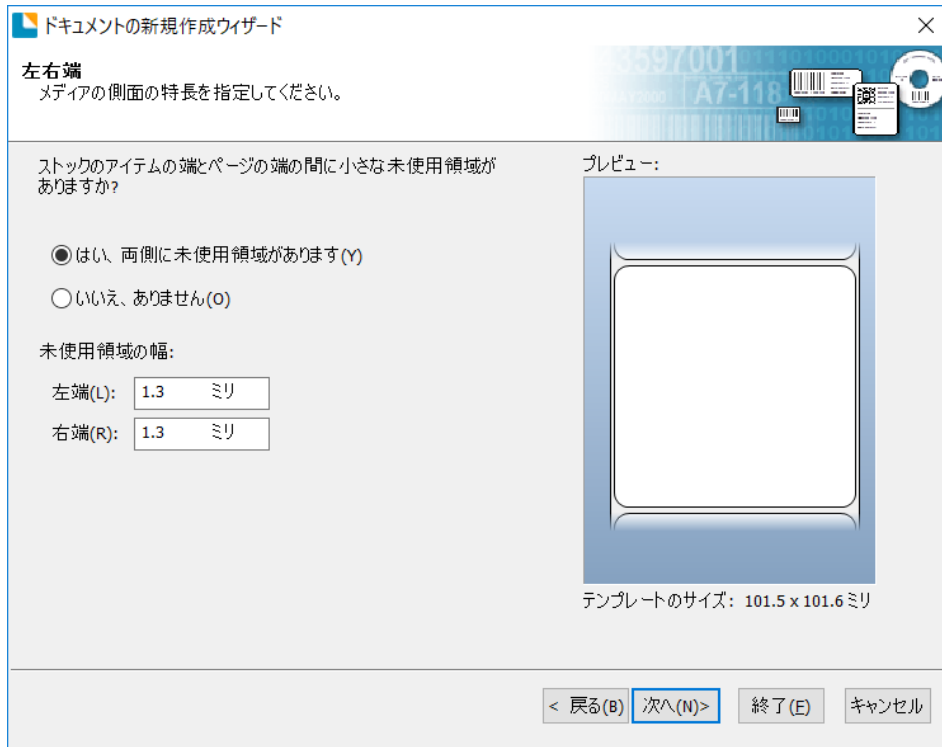
ほとんどのメディアでは、ストックのページ当たり1つのアイテム(ラベル、カード、タグなど)しかありません。ただし、一部のメディアはより複雑で、ページに複数のアイテムがあります。

☒ ページ当たり1つのアイテム(S)
☐ ページ当たり複数の列または行(M)

行(R): 1
 列(C): 1

< 戻る(B) **次へ(N)>** 終了(E) キャンセル

6.ラベルの左右端の設定を行います。長さなどを設定し終わりましたら、「次へ」をクリックしてください。



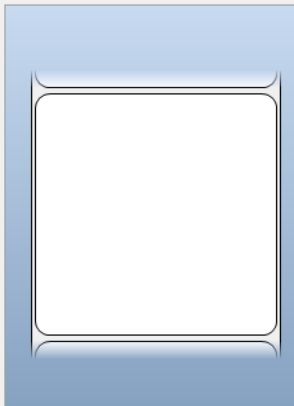
ドキュメントの新規作成ウィザード

左右端
メディアの側面の特長を指定してください。

ストックのアイテムの端とページの端の間に小さな未使用領域がありますか?

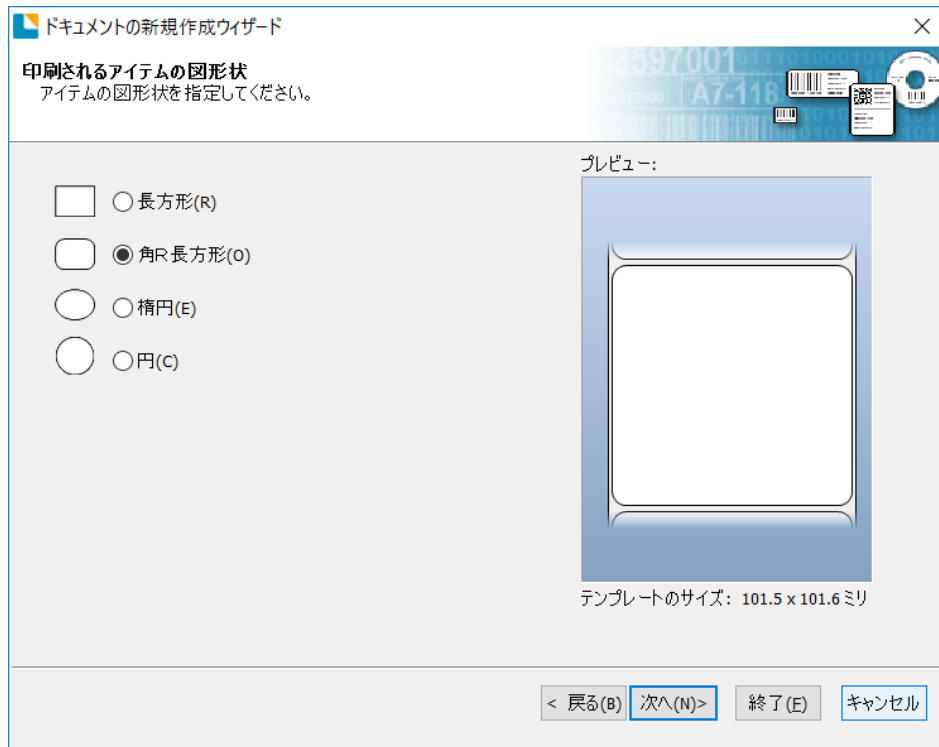
☒ はい、両側に未使用領域があります(Y)
☐ いいえ、ありません(O)

未使用領域の幅:
 左端(L): 1.3 ミリ
 右端(R): 1.3 ミリ

プレビュー:

 テンプレートのサイズ: 101.5 x 101.6 ミリ

< 戻る(B) **次へ(N)>** 終了(E) キャンセル

7.「印刷されるアイテムの図形状」を選択し、「次へ」をクリックします。



ドキュメントの新規作成ウィザード

印刷されるアイテムの図形状
アイテムの図形状を指定してください。

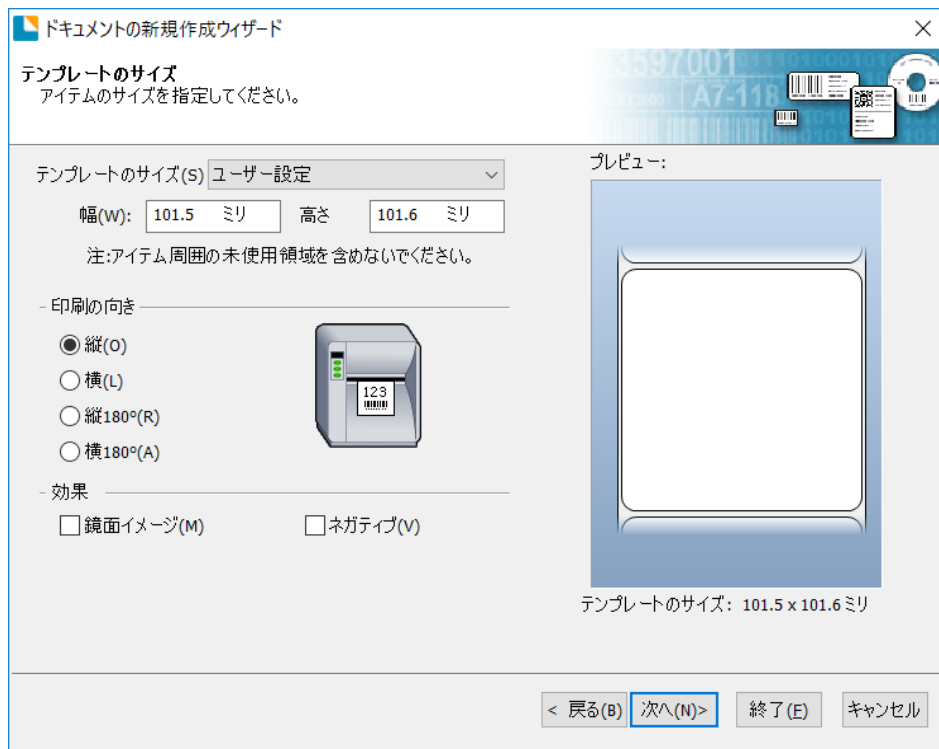
☐ 長方形(R)
☒ 角R長方形(O)
☐ 楕円(E)
☐ 円(C)

プレビュー:

テンプレートのサイズ: 101.5 x 101.6 ミリ

< 戻る(B) 次へ(N)> 終了(E) キャンセル

8.テンプレートのサイズを設定し、「次へ」をクリックしてください。



ドキュメントの新規作成ウィザード

テンプレートのサイズ
アイテムのサイズを指定してください。

テンプレートのサイズ(s) ユーザー設定

幅(W): 101.5 ミリ 高さ 101.6 ミリ

注:アイテム周囲の未使用領域を含めないでください。

- 印刷の向き -

☒ 縦(O)
☐ 横(L)
☐ 縦180°(R)
☐ 横180°(A)

- 効果 -

☐ 鏡面イメージ(M) ☐ ネガティブ(V)

プレビュー:

テンプレートのサイズ: 101.5 x 101.6 ミリ

< 戻る(B) 次へ(N)> 終了(E) キャンセル

9.印刷されるテンプレートの背景を設定します。もし必要がない場合でしたら、そのまま「次へ」をクリックしてください。

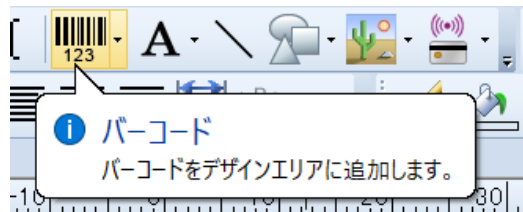


10.以上の設定が終わりましたら、下図のような画面になります。右側にはラベルのレイアウトが表示され、左側には詳細の情報が示されます。この画面で設定を確認し、もし問題ないようでしたらそのまま「終了」をクリックしてください。



7.4.2 ラベルの編集について

1. バーコードのアイコンをクリックすることによって新しくバーコードを作成することができます。



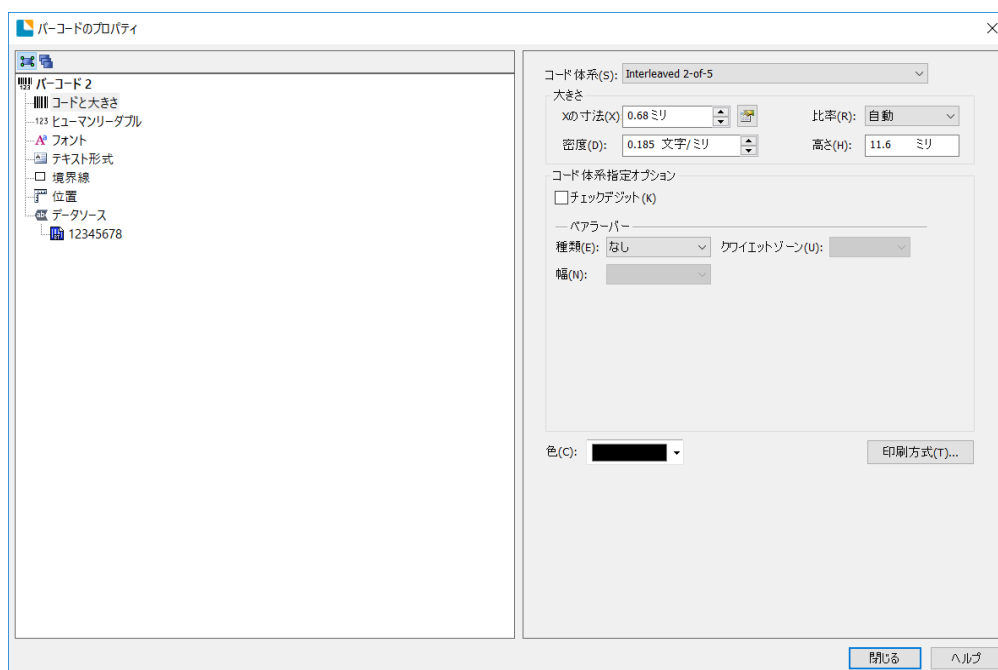
2. 作りたいバーコードの種類を選び、「選択」をクリックします



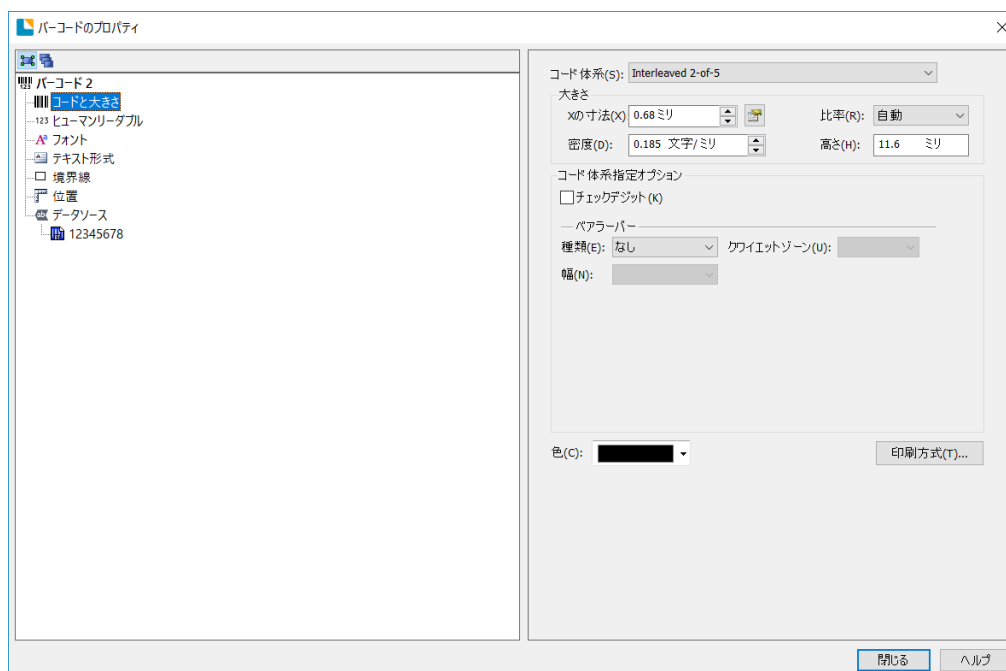
3 テンプレートをクリックすると、クリックした場所にバーコードが表示されます。



4. バーコードダブルクリックすることで、「オブジェクトのプロパティ」を開き、バーコードの編集を行います。



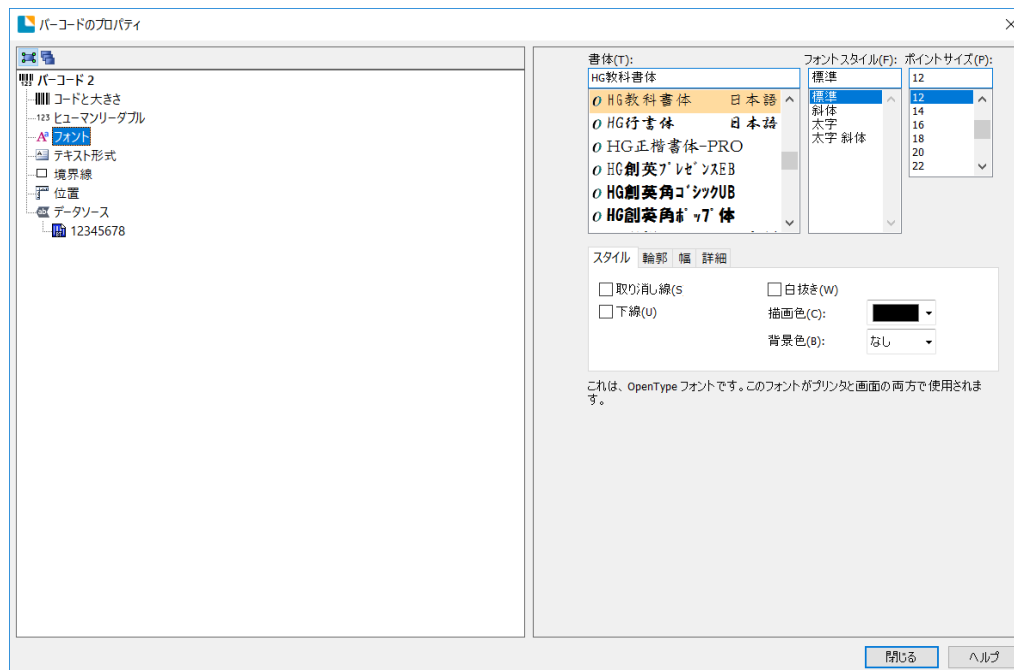
➤ 左のリストより、「コードと大きさ」を指定することで、バーコードのサイズを変更できます。



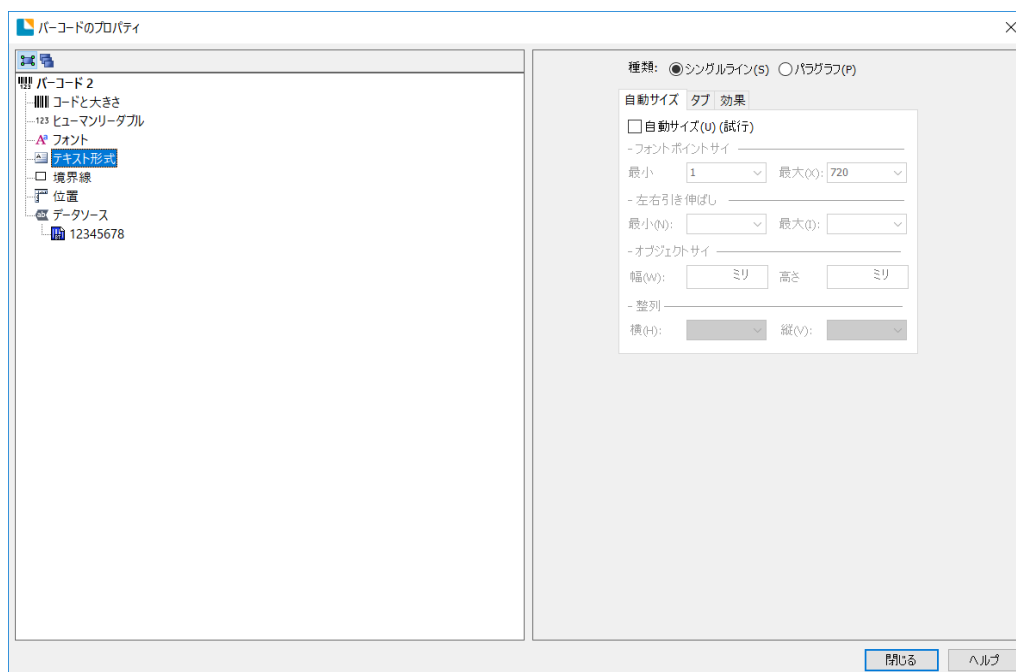
- 「ヒューマンリーダブル」をクリックすることで、バーコードに表示されているコードの配置を編集することができます。



- 「フォント」の項目から、バーコードのフォントを指定することができます。



- 「テキスト形式」より、テキストの編集を行えます。

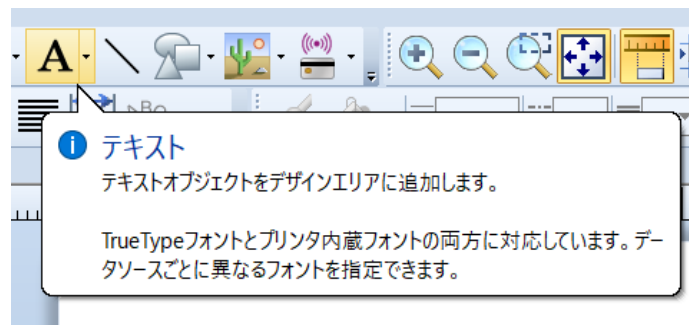


- 「境界線」より、バーコードの枠について編集できます。



- 以上の項目より、すべての編集を終えたら、ウィンドウ下部の「閉じる」をクリックします。

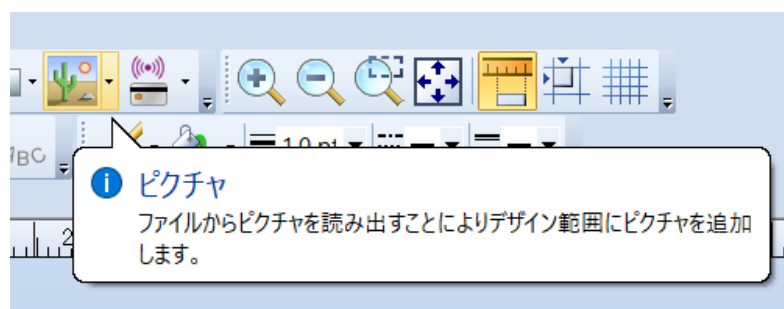
5. 下図の「テキスト」アイコンより、テンプレートにテキストを追加することができます。



6. アイコンをクリックし、入力するテキストの行数などを設定しましたら、テンプレートの空白部分をクリックすることで、テキストの入力を行うことができます。



7. 下図のアイコンをクリックすると、「ピクチャ」を開き、テンプレートに画像などを挿入することができます。挿入したい画像を指定した後、テンプレートに左クリックすると、指定した画像をテンプレートへ挿入することができます。



8.挿入した画像は下図のように、境界線ボックスを用いたサイズの変更などを行えます。



9.画像やバーコードなどのオブジェクトを移動し、印刷したい形へレイアウトしてください。



10.以上の操作が終了して印刷したいものが完成しましたら、ウィンドウ上部の「ファイル」タブより「印刷」を選択して印刷してください。

8. プリンターのお手入れ

プリンター内部にホコリや泥などの異物や粘着性のあるものが入り込んでしまうと、印刷の際に悪影響を及ぼす可能性があります。それらを防ぐために、以下の手順に従い、お手入れを行ってください。



注意事項

- 1) クリーニングする際には必ずプリンター本体の電源がオフになっていることを確認してください。
- 2) プリンター内部は印刷により熱が発生している可能性がありますので、電源を切って 2～3分後放置した後にクリーニングを始めるようにしてください。
- 3) クリーニングする際にはプリントヘッドの加熱部分に触らないよう心がけてください、静電気を発生させ、プリンターヘッドを損傷させる恐れがあります。
- 4) クリーニングする際にプリントヘッドを引っかいたり、何らかの摩擦を発生させたりしないよう心がけてください。

8.1 プrintヘッドのクリーニングする

プリンターのカバーを開き、専用のブラシ(もしくは綿棒に清掃用アルコールなどを浸したもの)を使って、プリントヘッドの中央から左右に往復させるようにして磨いてください。

クリーニングが終わりましたら、まず1～2分ほどプリンター内部を乾かしてから、電源を入れてください。くれぐれもプリンター内部が湿っている状態での使用は避けてください。

8.2 センサー、印刷ローラー、用紙経路などのクリーニングについて

- 1) プリンター本体のカバーを開き、プリンター内部の用紙を取り出してください。
- 2) 乾燥な綿棒などを使って内部のホコリや異物などを取り除いてください。
- 3) 綿棒などに清掃用アルコールなどを浸し、それを使って内部にこびりついた粘着物やその他のしつこい異物を取り除いてください。
- 4) クリーニングするがすみましたら、1～2分ほど内部を乾かしてください。



注意: 万一印刷が正常に遂行されなかった場合や、用紙を正しく認識できなくなった場合は、プリンター部品のクリーニングをしてください。

9. 改定履歴

[illegible]